

2024

# SANZINI

\* Rights Guide \*

日本語

# About SANZINI

サンジニは山で生まれ最も高く遠く飛ぶ鷹という意味で、地方出版社という厳しい環境の中でも長く生き続けようという願いが込められています。2005年の設立から現在に至るまで、人文、社会、政治、文学などの分野で750種余りの本を発行しています。最近では電子書籍やオーディオブックといった様々な読書サービスを展開しています。地方という限界を超えて多様なコンテンツを企画、制作しタイ、台湾、モンゴル、香港、ベトナムなどに版權を輸出するなど海外への著作権輸出にも力を入れています。2015年には韓国出版学会から経営・営業部門の大賞を受け、同年に創立10周年を記念してサンジニのスタッフと共に執筆した韓国で唯一の地域出版生存紀『地域で幸せに出版』を発行しました。

<b>Address</b>	48058, BCC 626, 140 Suyoungkangbyeondae-ro, Haeundae-gu, Busan, Korea
<b>Telephone</b>	+82-51-504-7070
<b>Fax</b>	+82-51-507-7543
<b>E-Mail</b>	sanzini@sanzinibook.com
<b>homepage</b>	www.sanzinibook.com
<b>blog</b>	sanzinibook.tistory.com
<b>facebook</b>	www.facebook.com/sanzinibook
<b>instagram</b>	www.instragram.com/sanzinibook
<b>X</b>	www.x.com/sanzinibook

# Contents

2 About SANZINI

## 文学

- 4 **ヘス、ヘス 1 - 魂捕食者** 혜수, 혜수 1 - 영혼 포식자
- 5 **ヘス、ヘス 2 - ヴァンパイア** 혜수, 혜수 2 - 뱀파이어
- 6 **ヘス、ヘス 3 - 九尾の狐** 혜수, 혜수 3 - 구미호
- 8 **地獄万歳** 지옥 만세
- 9 **考える人々** 생각하는 사람들
- 10 **デリバリー天国** 배달의 천국
- 12 **ギヨン** 기연
- 14 **S姉ちゃん時代** S언니 시대
- 16 **スオン** 쓰영
- 18 **ユートピアへ行く四つ目の方法** 유토피아로 가는 네 번째 방법
- 19 **夜の目** 밤의 눈
- 20 **レッド・アイルランド** 레드 아일랜드
- 22 **赤い灯、閉ざされた扉、出口なし** 붉은 등, 닫힌 문, 출구 없음

## 随筆

- 23 **午前に生きる者に、午後も未来だ** 오전을 사는 이에게 오후도 미래다
- 24 **ちらっと人形** 살짜쿵 인형
- 25 **乳がんだけどピキニは着たい** 유방암이지만 비키니는 입고 싶어
- 26 **動物、ニュースを書きます** 동물, 뉴스를 씁니다
- 28 **マキシマムライフが嫌で** 맥시멀 라이프가 싫어서
- 29 **誰が教えてくれなくても私は** 누가 알려주지 않아도 난
- 30 **日常を描く** 일상 그리기

## 人文社会

- 32 **分節された労働、変形した階級- 蔚山大工場の労働者の生涯と労働運動** 분절된 노동, 변형된 계급 - 울산 대공장 노동자의 생애와 노동운동
- 34 **少女趣向成長記 - 私を成長させてくれた女性たちの物語** 소녀 취향 성장기 - 나를 성장시킨 여자들의 이야기

- 36 **多文化博士の'本物'の多様性の話** 다문화 박사의 '진짜' 다양성 이야기
- 38 **孤独死は社会的他殺です - 現職警察官が見た孤独死の現場** 고독사는 사회적 타살입니다 - 현직 경찰관의 눈으로 바라본 고독사 현장
- 40 **ファッション、音楽映画を歌う - 19本の音楽映画からひもとく、ミュージシャンが愛したファッションの物語** 패션, 음악 영화를 노래하다 - 19편의 음악영화로 담아낸, 뮤지션이 사랑한 패션 이야기
- 42 **明日を考えるMacrobiotic Home Cooking** 내일을 생각하는 마크로비오틱 집밥
- 43 **魚博士が聞かせてくれた不思議な海の話** 물고기 박사가 들려주는 신기한 바다이야기

## 歴史

- 44 **歴史のドライブレコーダー：倭城の再発見 - 偏見の歴史を正す新しい歴史認識の端緒** 역사의 블랙박스, 왜성 재발견 - 편견의 역사를 바로잡는 새로운 역사 인식의 단초
- 46 **見抜く、ロシアと中国** 꿰어보는 러시아와 중국
- 48 **消えた香港 - 我らが「香港」と呼んだものの始まりと終わりについて** 사라진 홍콩 - 우리가 '홍콩'이라 불렀던 것들의 시작과 끝에 대하여
- 50 **東アジアエキスポの歴史 - メガイベントの感性工学** 동아시아 엑스포의 역사 - 메가 이벤트의 감성공학
- 52 **国家の暴力と遺骸発掘の社会文化史** 국가폭력과 유해발굴의 사회문화사

## 児童

- 54 **お腹のすいたアカエイ** 배고픈 노랑가오리
- 56 **黄金色の魚** 황금빛 물고기
- 58 **魔女バラクーダの庭** 마녀 바라쿠다의 정원
- 60 **スイカがコロコロ夏がドン!** 수박이 데굴데굴 여름이 쿵!
- 62 **ペット人間** 반려 인간



본 포트폴리오(Rights Guide)는 한국출판문화산업진흥원(KPIPA) '수출용 포트폴리오 지원' 사업을 통해 제작되었습니다.こちらのカタログは韓国出版文化産業振興院(KPIPA)の'出版社輸出カタログ制作支援'を通じて制作されました。

# ヘス、ヘス 1 - 魂捕食者

NOVEL

혜수, 해수 1 - 영혼 포식자

林晶洙 임정연



2003年にソウル新聞の新春文芸でデビューしたLim Jung Yeon作家の長編小説。

女子高生のできそこないの巫女Hyesuと幼い死神Haesuが繋がりを持ち、苦難と困難と一緒に乗り越えていく過程を描いた。興味をそそる設定や読みやすさで、一度手に取れば最後まで読まずにはいられない楽しい時間をプレゼントしてくれる。

だからといって、この小説の意義は面白味だけにあるのではない。使いの仕事をするヘスは、この世での命を終えた者たちを死後の世界へと案内する。死を迎える人々は自分が遺していくものを名残惜しむが、人生は有限であり、いつかは終わりを迎えなければならないという命の意味を粛々と伝えてくれる。

青少年文学

978-89-6545-718-3

248 Pages

140\*205

2021

\* フランス、ベトナムへ版權輸出

# ヘス、ヘス 2 - ヴァンパイア

NOVEL

헤수, 해수 2 - 뱀파이어

林晶沅 임정연



『ヘス、ヘス2-ヴァンパイア』は大人気『ヘス、ヘス1-魂の捕食者』の後続作品だ。今回は、女子高生巫女のヘスと死神で初めて神将になったヘスの、以前に増して相性ぴったりな物語が展開される。前作では、相反する二人が呼吸を合わせていく姿が愉快に描かれ、今作では距離の縮まった二人の姿が仲良く描かれている。今作には、より強力な悪役ヴァンパイアが登場する。あの世の秩序が乱され、ヘスの友達も危険にさらされる。ヘスは友達を助けるために孤軍奮闘するも、ヴァンパイアは以前の敵よりもずっと強敵だ。ヘスとヘスは友達を無事に助け出し、ヴァンパイアの陰謀を食い止めることができるだろうか？

青少年文学

979-11-6861-085-9

304 Pages

140\*205

2022

\* ベトナムへ版權輸出

## 林晶沅

林晶沅 ソウル新聞新春文芸に当選し、作品活動を始めた。著書に、小説集『前菜、私の人生』、『アウト』、『火』、長編小説『走れ!』、『ランランラン』、『フェアリーランド』、『地獄万歳』、『ヘス、ヘス1-靈魂捕食者』、『ヘス、ヘス2-ヴァンパイア』などがある。

# ヘス、ヘス 3 - 九尾の狐

혜수, 해수 3 - 구미호

林晶洙 임정연

NOVEL



青少年文学

979-11-6861-184-9

208 Pages

140\*205

2023

多くの青少年読者に愛された『ヒェス、ヘス』シリーズの3番目の物語で、新しく登場したヴィランの九尾の狐との戦いと冒険を描いた物語。

辛い食べ物が好きな平凡な女子高生のヘスと、10代の顔をした700年経歴のベテラン死神のヘス。『ヒェス、ヘス』シリーズは巫女と死神として関係を結んだヒェスとヘスがこの世とあの世を行き来しながらヴィランに対抗して戦う話を描いた小説で、フランスとベトナムに著作権が輸出された。

## ヒェスとヘスの前に現れた新しいヴィラン、九尾の狐の家族

ヒェスとヘスの前に現れた新しい障害物は他でもない九尾の狐だ。ある日、ヘスは道でかわいい女の子に出会う。ヒェスを知っているその子の名前はナコ。ヒェスの学校に交換学生として来たナコは、実は消えた父親と姉たちを探しに来た九尾の狐だ。ナコはヒェスと一緒にウォニョンの家で過ごすことになる。一方、ヘスはいつものようにあの世に連れて行く魂の名簿を確認している途中で、キツネの攻撃を受けて死んだ人を発見する。しばらく分からなかった死亡原因を不思議に思ったヘスは、キツネによる死を調査している途中、九尾の狐に襲われる。死神を攻撃する九尾の狐だなんて、ヘスはどんな理由で九尾の狐が人々を殺して自分を威嚇するのか分からずに混乱する。ナコとこの九尾の狐はどんな関係なのか、ヒェスとヘスは九尾の狐

---

の攻撃から無事に逃れることができるだろうか。

### 互いを助け合いながら似て行く死神と女子高生の巫女

前編で思いがけず関係を持った女子高生のヒェスと死神のヘスは、戸惑いと厄介さを感じるのもつかの間、力を合わせて悪鬼とヴァンパイアの攻撃を退けた。今回の話では、互いに慣れて気楽な関係を成す二人を見ることができる。ヴァンパイア事件で当分の間、死神の仕事ができなくなったヘスは、ヒェスが通う学校を訪れ、毎日居眠りばかりするヒェスに叱りつけ、ヒェスは負けずにそのようなヘスに言葉を返して当惑させる。ヒェスが食べる食べ物の味を感じるヘスのために、ヘスが好きなコーヒーを毎日探して飲むのもヒェスの自然な日常になった。

食べて寝ることから勉強して働くことまで、ヒェスとヘスの日常に互いが入り込んでいく。すべてに無関心で冷笑的だったヘスがヒェスの人間的な面に似ていき、ますますヘスの大胆さに似ていくヒェス、もう二人は互いの人生になくてはならない存在になる。

#### 林晶沅

林晶沅 ソウル新聞新春文芸に当選し、作品活動を始めた。著書に、小説集『前菜、私の人生』、『アウト』、『火』、長編小説『走れ!』、『ランランラン』、『フェアリーランド』、『地獄万歳』、『ヒェス、ヘス1-霊魂捕食者』、『ヒェス、ヘス2-ヴァンパイア』などがある。

# 地獄万歳

지옥 만세

林晶沆 임정연

NOVEL



「地獄万歳」は、愉快でハツラツとしつつも決して軽々しくはないイム・ジョンヨン作家の新作青少年小説だ。6人の大家族と暮らすピョンジェは、平凡な高校1年生だ。偶然の事件で、同じ学校の高嶺の花であるユシアとぶつかる。数日後、塾から家へと帰る途中でピョンジェは怪しい女のヤンキーに脅される。学校では存在感のなかったピョンジェが、高嶺の花であるユシアと関わったことで全校生の関心を受けることになるのだが、これはどういうことだろうか？しかも、朝はおじいさんと登山をし、週末は再開発地域でボランティア活動まで。ピョンジェはこの地獄を乗り切れるだろうか。愉快的なキャラクターと展開される予測不可能な事件、そして青少年たちの若者らしい話し方はユーモアと同時に生々しさを伝え、一度手に取れば最後まで読まずにはいられない。負け犬人生でも、苦しんだ後には必ず幸せが訪れるであろう！

青少年文学

978-89-6545-648-3

256 Pages

140\*205

2020

\* 2020年6月、韓国読書文化プラットフォーム「チェックシアッ(本の種)」の推薦図書に選定

\* 2020年、韓国文化芸術委員会の「文学シェア事業」の対象書籍に選定

\* 2020年、『学校図書館ジャーナル(7・8月号)』の推薦図書に選定

## 林晶沆

林晶沆 ソウル新聞新春文芸に当選し、作品活動を始めた。著書に、小説集『前菜、私の人生』、『アウト』、『火』、長編小説『走れ!』、『ランランラン』、『フェアリーランド』、『地獄万歳』、『ヒェス、ヘス1-靈魂捕食者』、『ヒェス、ヘス2-ヴァンパイア』などがある。



# 考える人々

생각하는 사람들

鄭永善 정영선

NOVEL



作家は2013～14年に、北朝鮮離脱住民定着支援事務所であるハナ院内にある青少年学校で派遣教師として勤務する間、脱北した青少年たちの暮らしを見守りながら韓国社会で北朝鮮出身の者たちが経験するまた別の問題に注目した。この小説は、作家のそうした観察や悩みの結晶だ。21世紀でも自由な移動が許されない唯一の場、北朝鮮。にもかかわらず、国境を超え南朝鮮へと来る人々。この小説は脱北者を題材に、彼らの南朝鮮での暮らしや韓国社会の闇を描く。主人公ジュヨンは一看板ひとつない出版社に面接を受けに行く。そこで出会った国情院の「コ」は、彼女にネットのコメント業務を指示する。大統領選挙が終わった後、コはジュヨンに脱北者たちの南朝鮮での定住のための教育機関であるユニ院での契約職員の席を提案し、ジュヨンはユニ院で勤務しながら様々な理由で南朝鮮を選んだ子供たちと出会う。

文学

979-11-6861-306-5

304 Pages

135\*200

2018

- \* 2018樂山キム・ジョンハン文学賞受賞図書
- \* 2022韓国文学翻訳院完訳原稿支援事業選定, 日本語翻訳 完
- \* 藤田麗子 翻訳
- \* マレーシアへ版權輸出
- \* 2024年、ソウル国際図書展でリカバー図書「もう一度、この本」に選定

鄭永善

韓国ナムへ出身。1997年、中編小説『並行の美で』が韓国の文芸季刊誌『文芸中央』の文学賞で新人賞を受賞してから作家として活動を始めた。長編小説『糸で作られた月』『恥』『グニャグニャでモチモチな恐ろしさ』『水の時間』『考える人たち』、小説集『並行の美』を著した。プサン小説文学賞、プサン作家賞、ボンセン文化賞(文学分野)、ヨサン・キム・ジョンハン文学賞を受賞し、2023年には『何でもない光』でドンイン文学賞も受賞した。

# デリバリー天国

배달의 천국

金玉淑 김옥숙

NOVEL



文学

979-11-6861-163-4

304 Pages

212\*140

2023

出前文化の発達した大韓民国に生きる自営業者の哀歎と、悪意のある書き込み、迷惑客などのパワハラ問題を訴える作品。

出前アプリをクリックするだけで、手元に食べ物が届く天国。だが、その天国のために地獄を味わっている人たちがいる。

大韓民国は「デリバリー天国」だ。携帯を数度クリックするだけでコーヒー一杯から重たい家具まですばやく「スピード配送」される。なかでも、ありとあらゆる飲食店が集結した出前アプリは、韓国人のスマートフォンの必須アプリとなった。出前の注文から会計まで、アプリでいっきに解決できる。そして間もなく、玄関前までほかほかの料理が届けられる。

コロナの大流行により、このような「非対面型」の日常はますます当たり前のものになった。ソーシャル・ディスタンスの指針により飲食店は休業し、営業制限を受ける。飲食店を営むマンソクは右肩下がりの売り上げをどうにかしようと、出前を始めることにする。だが、人と人が対面しない出前の特性上、客たちはありとあらゆるいちゃもんをつけてくる。出前アプリを通じて「返金してくれないなら口コミに書いてやる」と常習的に脅迫してくるレビュアーたちのせいで、マンソクは出前を始めて以来、一日たりとも心休まる日がない。

口コミの管理に悪戦苦闘していたある日、店を20年来続けてきたマンソクの商売魂に泥を塗るような悪質なコメントを書き込まれる。見ると、嘘八百を並べ立てた内容だ。マンソクは今

---

度ばかりは許さないと対抗するが、これが果てしない戦いへと続く。コメントを巡り、客との戦争の火蓋が切って落とされたのだ。

本書は世界中の読者に、韓国の熾烈な出前文化を知らしめている。と同時に、その裏にある出前業のシステムや、プラットフォームを運営して利潤を生み出す「プラットフォーム資本主義」の闇を赤裸々に映し出している。伝染病の流行で、わたしたちは非対面の日常に慣れてしまった。そのため、今では韓国のみならず、世界中で非対面のデリバリー文化が根つきつつある。この小説は、プラットフォームサービスの便利さにあやかるユーザーの立場ではなく、その裏で搾取される労働者と零細自営業者の実体を伝えてくれる。そうして、世界中の自営業者と、デリバリーという生態系のなかで苦しんでいる多くの人たちに、共感と慰みを与えてくれるだろう。

#### 金玉淑

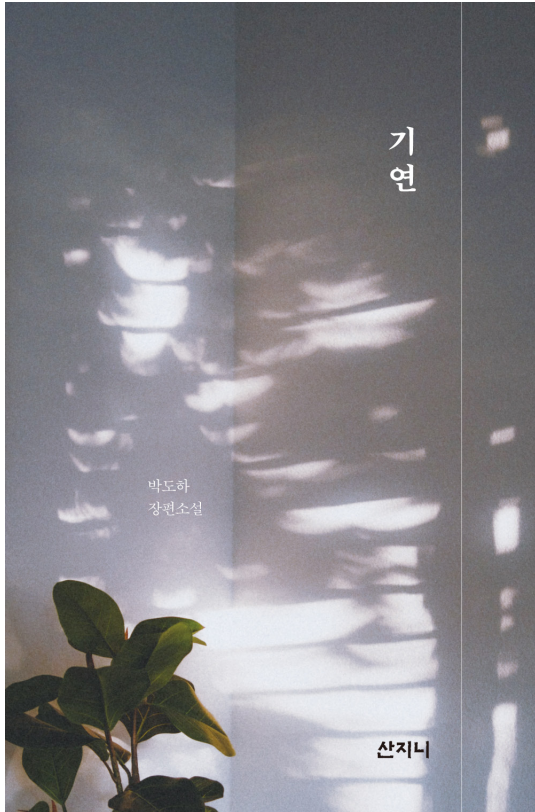
慶尚南道陝川に生まれる。2003年、大邱の地方新聞『毎日新聞』の新春文芸で詩「駱駝」が当選し、同年、チョン・テイル文学賞に小説『君の名は希望だ』が当選する。以後、詩と小説を書いている。著書に『希望ラーメン三袋』、『平和の火花になった核の子ヒョンニユル』、世宗図書教養部門に選定された『キム・ヒョンニユル(金亨律)』がある。詩集に『鳥の食事』、長編小説に『食堂の社長チャン・マンホ』、『傷痕の花』、『ソウル大の国のヘリコプターママ マ・スニョンさん』がある。アンソロジー『今月のジャンル小説2』に「エレベーターの鏡に入り込んだ男」を書いている。

# ギヨン

기연

박도하 박도하

NOVEL



小説

979-11-6861-179-5

208 Pages

125\*190

2023

結婚という制度の中で徐々に自我が消滅していくギヨンの自我と人生、愛に関する物語。

お母さんは人を愛したこともないじゃない  
痛みから生まれる、始まりから危険な愛

## 色あせる自我の中で愛を探す

『ギヨン』は、結婚という制度の中で徐々に自我が消滅していくギヨンを中心人物に据えた。著者は、ゆるい結び目のような家族関係を続けている中年女性の自我と人生、愛に関する物語とその心理をまばゆい文章で表現した。30年あまり結婚生活を続けても自分の人生と愛を見つけれなかったある中年女性の物語は、一人の男性との出会いによって再び前に進み始める。

## 「そう、あんたは恵まれてるわね」 娘の結婚と母の立ち位置

ギヨンは、公務員になった娘が結婚を選んだことが気に入らない。夫と愛情を交わしたことのない彼女は、いつも自分を非難してばかりの夫との結婚生活に強い疲労感を覚え、娘には自分と違う人生を生きることを願ったからだ。ギヨンは娘の嫁入り道具を準備するため、娘の名前と同じ「ジェヨン布団店」に入り、そこで出会った社長のパク・チスに惹かれる。人生で一度も感じたことのない感情に混乱した彼女は、布団店の周りを歩き回るうちにめまいを感じて近く

---

小説の全編を通じて移り変わる季節の風景、浮かび上がる色や明暗などの絵画的要素は、死に向かって一步一步歩いていく登場人物たちの状況と心理を巧みに表している。\_カン・ドヒ (文学評論家)

小説『ギヨン』には、主人公のギヨン以外にも家族の中で自分の存在の希薄さを感じるさまざまな女性の視点が描かれている。\_慶尚日報

の椅子に座り、しばらく気持ちを鎮めていたところをチスに見つかる。この日をきっかけに二人は心を通わせることになるが、ギヨンは自分が長い間守ってきたものがチスとの出会いで揺らぎはじめたことに不安を感じる。

### なぜ人間は最も近い人に対して最も残忍なのか

『ギヨン』には、ギヨン以外にも家族の中で自らの存在の希薄さを感じるさまざまな女性の視点が描かれている。離婚し、画家として一人で生きていくギヨンの友人ジュソン、長年一人で家族としての義務を果たし、家族を支えてきたチスの妻ミオク、家を離れ、再び戻ってきた母親の姿を見ながらも満たされないハンソンの娘イェリなど、登場人物は誰もが家族の不在を感じている。家族がいるにもかかわらず感じる不在の感覚は、これらの人物の自我をさらに希薄にさせる。夫、子ども、母親との関係の中で感じる疎外感と傷を長い間味わった末に現れるのは、からっぽの欠落感だ。

### 朴ドハ

1983年、大邱生まれ。啓明大文芸創作学科と忠南大國語国文学科修士課程を卒業した。2023年、慶尚日報の新春文芸(文学賞)で短編小説「フィービー」が入選し、作家として活動を始めた。

# S姉ちゃん時代

S언니 시대

曹華辰 조화진

NOVEL



小説

979-11-6861-152-8

260 Pages

140\*205

2023

「S姉ちゃん」は「Stepsister」または「義姉」の意味で、実の姉と同じくらい親しく親密な人を指す。1970年代の韓国の青少年の間では、このいうふうにならぬや学校でそれぞれS姉妹を結んで「特別な」友情を築くことが流行っていた。S姉ちゃんは1970年代当時、女性たちの強固な友情と繋がりを示す一つの証であった。

1970年代に中学に入学した主人公「スジャ」。中学生になったスジャは身体的な変化に加え、精神的な変化にも気づくことになる。身体に現れる不思議な変化だけでなく、普段の些細なことから感情的な変化を感じ取る。実の姉よりも仲良くしていた養姉の「ジョン・スン」に何とも言えない距離感を感じ、性格も冷笑的になってしまう。

この本には、スジャの目線から見るS姉ちゃんたちの物語が描かれている。大学に入学したが、妊娠して戻ってきた実の姉「スイ」、スジャの家で家政婦をしていたが結婚するようになった「ジョン・スン」、多才だが家庭内暴力にさらされた親友「ユギョン」、小説家の夢を追い求める小店のお姉ちゃん。スジャが観察した周囲の姉ちゃんたちは1970年代に蔓延していた時代の偏見に順応、または抵抗しながら自分の人生を生きていく。

経済の目覚ましい成長と強圧的な政治体制、そしてその混乱の中で生まれた多彩な大衆文化。この本は、変化の最中にあった1970年代韓国を生き抜いた女性たちの人生を照らし出す。学校では頭髪指導で髪を切られ、家では「秩序」という

---

名目の家父長制のせいで言いたいことすらろくに言えなかった女性たち。そのような状況でも互いに繋がり、頼り合いながら自分の人生を生きていく女性たちの姿を通じて、韓国だけでなく世界中で自分の声を出せず、抑圧されたまま生きていくしかなかった女性たちを慰める。

「S姉ちゃん」は韓国だけにいたわけではない。政治的な弾圧と家庭内の独裁から離れ、自分のアイデンティティを確立しようと努力した世界各地にS姉ちゃんがいた。今日のS姉ちゃんたちが社会の偏見に屈せず自分の道を見つける、友情を超えた連帯の可能性をこの本から確認できる。

#### 曹華辰

『キョンナム新聞』が主催する「新春文芸」（文学賞）に短編小説「道の上で」が当選したことをきっかけに小説家として作品活動を始めた。筆笥にものが入っているようにノートパソコンにはきちんと原稿が入っていて、そのジャンルも旅エッセイ、恋愛小説、短編小説、楽曲歌詞など様々。インディーズ映画や旅が好き。幼い頃からはまっていた読書は小説を書くベースになった。小説集『静かな夜』『風船玉を膨らましてごらん』『スーツケースを引く』（2020年、韓国文化芸術委員会の「文学シェア事業」の対象書籍に選定）を著した。

# スオン

쓰엉

徐聖蘭 서성란

NOVEL



小説

978-89-6545-377-2

288 Pages

148\*210

2016

- \* 2017世宗図書 文学ナムム選定図書
- \* 2017釜山文化財団優秀図書
- \* 2017釜山国際映画祭ブックトゥフィルム選定作品
- \* ベトナムへ版權輸出

韓国に結婚で移住したベトナム女性のスオンが、排除と差別に順応したり逃げたりせずに、自分だけの方式で人生を切り盛りしていく物語である。

『スオン』は、作家が韓国への結婚移住女性たちの人生を取材した内容を土台に、そこに作家の想像力を加えて新しく構成した小説である。黒褐色の瞳と黒い肌のベトナム人女性のスオン、彼女は韓国の田舎町で国際結婚仲介業者を通して出会ったキム・ジョンテと結婚して暮らしている。

スオンの想像していた結婚生活とは異なり、姑との葛藤は日増しに大きくなり、夫は姑と自分の間に起こる不和に知らないふりをする。そんなある日、スオンの家で放火事件が起こった。よりによって、スオンのいない時に家が火事になり、姑は死ぬ。夫のキム・ジョンテは放火の犯人がスオンだと固く信じている。その後、夫は農作業もせず、日々飲んだくれている。スオンは生計のために都市から引っ越してきて白い家を建てて暮らしているイ・リョンとチャン・ギュワンの家で家政婦として働くことになる。文学評論家のチャン・ギュワンは、小説家イ・リョンの官能美の虜になって、山里に白い家を建て、彼女と結婚する。チャン・ギュワンは再婚だった。しかし、想像していた幸せな結婚生活は長くは続かなかった。イ・リョンは山里の低い木々の森で、オシの男に追われて逃げたのだが事故に遭って脳手術を受け、言語と記憶を失ってしまった。チャン・ギュワンはイ・リョンを看病しながら暮らすこと



---

東南アジア出身の結婚移住者に対する差別のような社会的批判を越え、愛と欲望など人間の個人的な問題まで溶け込んでいる、響きの振幅の大きな作品である。\_国民日報

になる。狭くて暗い屋根裏部屋に自らを閉じ込めて、失われた時間をたどっていたイ・リョンは、家政婦のスオンに好奇心を持って外出する。イ・リョンの看病で疲れたチャン・ギュワンも、若くて美しい「スオン」を欲するようになる。

スオンは白い家の家政婦として働きながら、村から離れた新しい人生を夢見る。スオンの気持ちに気づいた夫のキム・ジョンテは、白い家に放火する。周到に計画された夫の放火と村人たちの暗黙的な容認で、スオンは放火犯と決めつけられ拘束される。スオンは自らを弁護しなければならないのだが、上手だった韓国語は全く話せず、聞き取ることもできない一時的な言語障害を経験する。スオンは法廷で真実を語ることができるだろうか。スオンを取り巻く人物たちの危険な欲望を、作家は冷静で淡々とした口調で構成して行く。

徐聖蘭小説家の描いた「スオン」は、無理に順応したり逃げたりせず、自分だけの方式で人生を切り盛りしていく若くて健康な女性である。作家は、スオンがただ結婚のためにだけ移住してきた他地の人間ではなく、より良い人生を夢見る平凡な女性であることを悟らせ、読者たちがいつのまにか彼女を応援するように導いていく。

#### 徐聖蘭

1967年、益山で生まれ、ソウルで育った。西京大学で国語国文学を専攻し、中央大学一般大学院文芸創作学科で修士・博士課程を卒業した。「韓国小説の結婚移住女性叙事研究」で博士号を取った。1996年中編小説『おばあちゃんの平和』で実践文学新人賞を受賞し、登壇した。創作集に『部屋に関する記憶』、『パブリカ』、『ベッドのない女』、長編小説に『すべては消えぬ月』、『特別なお客様』、『七番目の二十歳』、『豊年食堂レシピ』などを出版した。

# ユートピアへ行く四つ目の方法

NOVEL

유토피아로 가는 네 번째 방법

郑光谟 정광모



この本は、夢の中でユートピアの建設を企てる人物たちを通じて本当のユートピアの意味を振り返らせてくれる。ムドックは9級公務員試験に合格し、住民センターで働いている。ムドックは「青い塔の夢カフェ」を通じて「起きている夢」を知り、なんの器具にも頼らず自分だけで飛んでみたいという熱意で、夢を自覚する訓練から少しずつ実行する。そんなムドックに目をつけたカフェの代表であるタグは、ムドックに「起きている夢」でのユートピア建設に参加しないかと提案する。ユートピアへ行く道に設置された白い扉と黒い扉。タグは、白い扉を通過こそユートピアへ行けると言う。ムドックはタグに連れられて白い扉の向こうのユートピアを体験するが、それはタグによる秩序の中でだけ許された自由だった。これが本当にユートピアへ行く四つ目の方法なのだろうか？

小説

978-89-6545-730-5

368 Pages

140\*205

2021

\* 2021 韓国文化芸術委員会 文学ナナム 選定図書

\* 2022 ワクチン愛文学賞受賞図書

郑光谟

小説家。プサン出身。「ようこそ、音痴です」で月刊誌『韓国小説』が主催する文学賞の新人賞を受賞してから作家として活動を始めた。小説集『虚言症男』『ジョンソン記憶販売会社』『私はジャン・ソンテクです』『コルト45』、長編小説『トスク』『最後の鑑識』を発表した。他にも『小説家のドローン読書1、2、3』などを著した。プサン小説文学賞、プサン作家賞を受賞し、アルコ創作基金からも支援された。

# 夜の目

밤의 눈

曹甲相 조갑상

NOVEL



これまで鋭い洞察力で、私たちが瀕している現実の実態に気づかせてくれた釜山を代表する作家 曹甲相 の長編小説。「夜の目」は6.25戦争(朝鮮戦争)時代を舞台に、実際にはない大津邑という場所で国民報道連盟と関連した民間人の虐殺を描いた小説だ。この小説は韓国の近代史についての深い理解をもとに、闇と沈黙の中での恐怖や悲しみをすくい上げ、その中で人々がどのような言葉や記憶を強制的に失うことになったのかを見せてくれる。落ち着いた言い回しは抑えようのない恐怖を呼び起こすかと思えば、目を背けたくなるような一節でもページをめくる手を止められなくさせる。アウシュビッツから生き延びたプリーモ・レーヴィが自伝小説を通じて自身の経験を話したとすれば、作家曹甲相は処刑の場から生き残った「ハン・ヨンボム」を通じて、忘れ去られていく現実を「夜の目」という小説で再構成し人々に伝える。

小説

978-89-98079-21-5

144 Pages

152\*223

2017

\* 2013年、「マンヘ文学賞」受賞

\* 2013年、韓国文化芸術委員会の「優秀文学図書」に選定

## 曹甲相

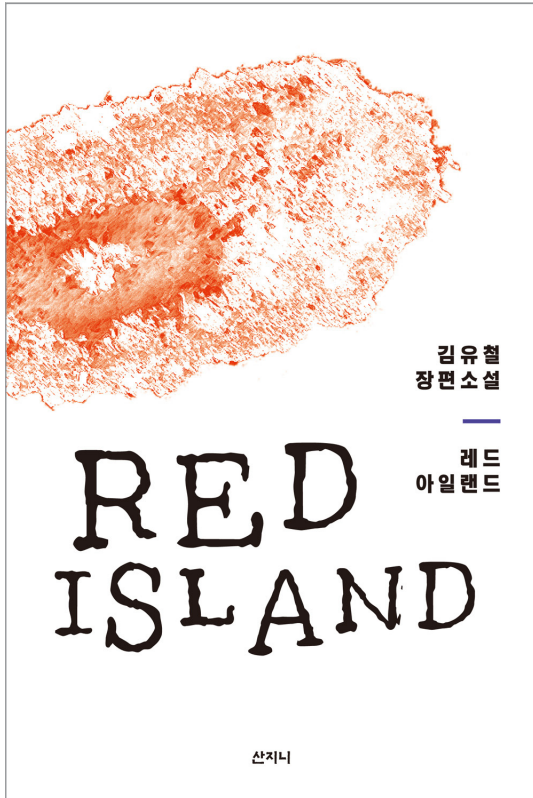
1980年『ドンア日報』が主催する「新春文芸」(文学賞)に短編小説「独り笑い」が当選してから作品活動を始めた。長編小説『誰でも平行線向こうの愛を求める』『夜の目』『見えない森』を発表し、小説集としては『再び始まる終わり』『道で兄を失う』『テハチャビの月』『ピョンサン町誌編纂簡略史』がある。他にもエッセイ集『物語を歩む』と小説の中のプサンの姿をまとめた『小説から読むプサン』などがある。ヨサン・キム・ジョンハン文学賞、マンヘ文学賞などを受賞した。

# レッド・アイルランド

NOVEL

레드 아일랜드

金裕哲 김유철



小説

978-89-6545-307-9

352 Pages

152\*223

2015

\* 2015釜山国際映画祭アジアフィルムマーケット  
ブックトゥフィルム選定図書

## 解放後、イデオロギーの深い沼に陥った済州島、その中に多くの人々がいた

解放後、一夜にして豹変した世の中に皆が困惑し、混乱の済州島、人々は自分たちの期待とは違う解放という現実怒っている。「キム・ホンイル」も他の済州島の人々と同じだった。彼のそばには幼い頃から自分の身の回りの世話をしてくれた牧童の友人「バン・マンシク」がおり、警察と米国軍政の機嫌を取りながら事業をする兄「キム・ジョンイル」がいる。また、キム・ホンイルの家に住むホン・ソンスは、恵化専門学校を中退し、文を書くために済州島まで下ってきた外地人である。彼は済州島に滞在し、28周年を迎えた3・1節記念大会で発生した警察の銃撃事件など尋常でない済州島の雰囲気を感じていた。

日帝末期、キム・ホンイルの父親の要請でキム・ホンイルに代わって日本に徴用されたバン・マンシクは、死ぬほどの苦勞をした後、解放と同時に故国に帰ることになり、胸が熱くなる。しかし、故郷に帰ってきた後に向き合った世の中は、彼が夢見ていた姿とは違った。理由もなく警察に連行されて拷問され、友人のキム・ホンイルの助けでやっと釈放されたバン・マンシクは、世の中に懐疑を感じ、済州島の人々が幸福に暮らせる革命を夢見る。

幼い頃から仲間だったキム・ホンイルとバン・マンシクは、イデオロギーの盛んな時代の波に巻き込まれ、互いに銃を向け合う境遇になる。また、外地人であるホン・ソンスが済州島民と共に

---

4・3事件という歴史的  
事件を単純に素材とし  
て扱うことにとどま  
らず、事件の中の人物  
像に集中して終始一貫  
緊張感を与えている。

— 済民日報

死を迎え、済州島民のキム・ホンイルは自分の故郷の人々の反対側に立つことになった。小説『レッド・アイルランド』は歴史的な事件を単純に素材にだけでなく、その事件の中の人々の物語に集中している。キム・ホンイルは矛盾した大韓民国の政治状況に批判的だが、結局体制に順応して警察官になり、パン・マンシクは徴用後に世の中の矛盾に目覚め始め、革命を夢見る人物になる。また知識人階層のホン・ソンスは、愛する女性と自分の良心を最後まで守る人物として描かれ、キム・ジョンイルは典型的な機会主義者の資本家の姿を見せる。小説『レッド・アイルランド』ではこのような多様な人物像を通じて、残酷な時代と傷ついた歴史の傷痕を知ることができる。互いを殺さなければならない2人の友人の震えながらの会話と、暗鬱な時代の中でも愛する人を守ろうとする人間の心情から、残酷な歴史が残した傷を見つけることができる。

#### 金裕哲

1971年、釜山生まれ。2002年『オシリスの指輪』で第1回韓国インターネット文学賞大賞を受賞し、2007年『国選弁護士-その年の夏1』で黄金ペン賞を受賞した。2009年、海洋小説『偉大な遺産』で釜山日報の新春文芸に当選し、本格的に文壇デビュー後、長編小説『サラダ・ハンボタンの冬』で文学トネ作家賞を受賞した。

長編小説に『サラダ・ハンボタンの冬』、『レッド』があり、中編小説に『暗殺』、『耽溺』、短編小説に『ミツコに関する思い出』、『恋人』などがあって、本格的な純文学と大衆小説の二刀流として作品活動を続けている。

# 赤い灯、閉ざされた扉、出口なし

NOVEL

붉은 등 달힌 문 출구 없음

金飛 김비



『赤い灯、閉ざされた扉、出口なし』の主人公ナムスは月村で育ち、いまだ貧困から抜け出せない一家の大黒柱だ。宅配の配達員として働き、毎日数百段の階段を登っても生活は変わらない。悲観的になった彼は無気力状態となり、妻のジエと脳に障がいを持って生まれた6歳の息子、ファニと無理心中をしようと心に決める。ところが、最後の晩餐のために寄った160階の超豪華なデパートの非常階段に閉じ込められてしまう。いくら叩いても扉は開かず、視界にあるものは上にも下にも延々と続く階段だけだ。自殺さえも失敗に終わるかと思いきや、ナムスはむしろ必ず生きてここから出るべきだと考えるようになる。

小説

978-89-6545-319-2

268 Pages

148\*210

2015

金飛

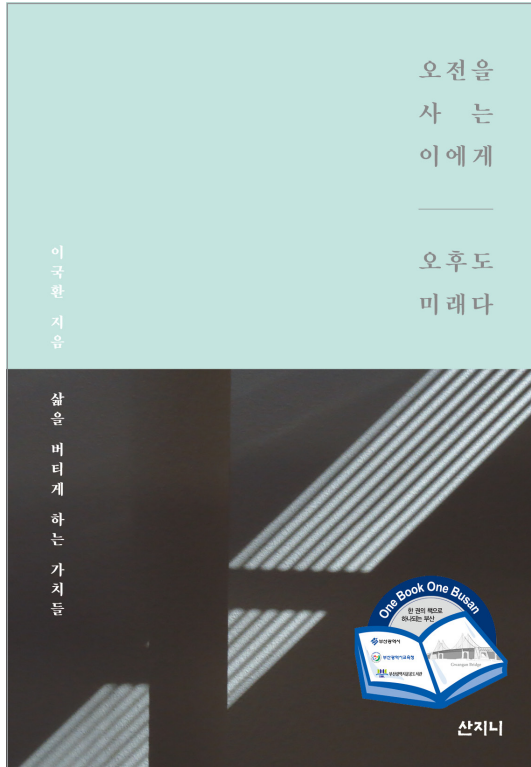
1971年、韓国と北朝鮮の境界、生と死の境界、男と女の境界で生まれた。2000年、30歳で「女」として生まれ変わり、2007年には月刊誌『女性ドンア』の長編小説募集に『プラスチック女』が当選することで「小説家」としてもう一度生まれ変わった。2012年には世界文学のオンラインマガジン『国境なき言葉 (www.wordswithoutborders.org)』の世界クィア文学コーナーに短編小説「唇の木」の英語版を掲載し、エッセイ『君の頭に花をつけろ』も発表した。他にもいくつかの本を著し、また映画「ヨコヅナ・マドンナ」の製作にも加わった。

# 午前に生きる者に、午後も未来だ

ESSAY

오전을 사는 이에게 오후도 미래다

李国煥 이국환



生きていく上で避けられない不安、苦しみ、悲しみ。疲れた生活の中でも耐えなければならない理由、生きなければならない理由は何だろう。この本は、毎日を生きる人たちに、人生を守り、自分を守るための文章が書かれている。芸術と哲学で見つけた人生の重み、読書と執筆への愛情、苦しみと不安の中で耐える人生の価値、人と共に生きる意味を著者の確固たる思想と新しい視線で見ることができる。決められた道よりも、揺れ、悩みながら歩んできたところどころに人生の意味は存在する。この本は、揺れ、悩み、不安を抱えたまま、しかし誠実に生きている人たちに、これから訪れる午後も未来になるんだと語りかける。

随筆

978-89-6545-623-0

232 Pages

145\*210

2019

- \* 2019 国立中央図書館司書おすすめ図書
- \* 2020 ワンブック・ワンプサン 選定図書
- \* マレーシア、ベトナム、トルコ 著作権輸出

李国煥

ドンア大学韓国語文学科教授。読書と作文を教える。大体悩みがあるときに文章を書き、書いた文章を自分で読んで考えを片付けてからまた書き直したりもする。幸運なことに、一作品が中学校の国語の教科書に掲載されたことがきっかけであちこちに文章を発表するようになったが、時には恥ずかしい気分にもなる。テレビ番組「再び本だ」、ラジオ番組「イ・グクハンの本読む朝」の司会者として色々な本を紹介した。ドンア大学では最優秀講義教授として何度も選ばれた。これからも読んだり書いたりしながら生きていきたいと希望する。

# ちらっと人形

ESSAY

살짜쿵 인형

崔瑞顯 최서현



隨筆

979-11-6861-219-8

224 Pages

120\*205

2023

崔瑞顯

キダルト人形コレクターとして10年目。中でも一番好きなのはぬいぐるみだが、そのコレクションはフィギュアやマグネット、ミニカー、オルゴールまでとても幅広い。幼い頃、好きなだけ人形を持ってなかった欠乏感から人形を取集るようになったが、結果的に自分が何が好きで、どのような人生を送りたがって、何をしていると幸せになるのかが分かった。幸福論に傾倒しており、多少の欠乏がむしろ充実した人生を作ってくれと信じている。会社員10年目、キダルトユーザー5年目、ブログプラットフォーム「ブランチストーリー」のエッセイ作家3年目。

私たちは皆、内部または外部外部要因による何らかの欠乏を抱えている。そして、それを満たすために努力する。『ちらっと人形』の著者「チェ・ソヒョン」は自分が好きな、自分を幸せにしてくれる人形を通して自分を慰め、欠乏を満たしている。人形を収集することは著者が発見した「自分を愛する方法」である。

人形の収集に夢中になっていると内面に大きな欠乏がある人に見られる時もある。しかし、自分の欲望を正確に知り、それをこつこつと追い求める彼女は誰よりも幸せだ。

この本は単に自分の趣味を自慢するために書いたわけではない。欠乏と苦しい現実から逃れるために、そして何かに没頭することで救われた経験を伝えるために書いた。この本には、好きなものから力を得て強くなっていく過程とともに、何かに夢中になった自分の姿をありのまま認め、受け入れてほしいという思いが込められている。

著者はある日突然、「自分と同じ趣味を持つ人がどこかにいるのではないか」と思い、携帯電話を手に取った。持っていた人形を並べてまず撮影を始めた。紹介はおろか挨拶すらごちなかったが、自分と同じ趣味を持つ誰かに共感され、情報や代理満足を与えたかった。それがユーザーとしての始まりだった。

著者は何かを好きになる力で自分の世界をカラフルに彩っている。好きなものへの心のこもった愛情と情熱が読者に「自分の好きなものは何だったのか」を考えさせる。



# 乳がんだけどビキニは着たい

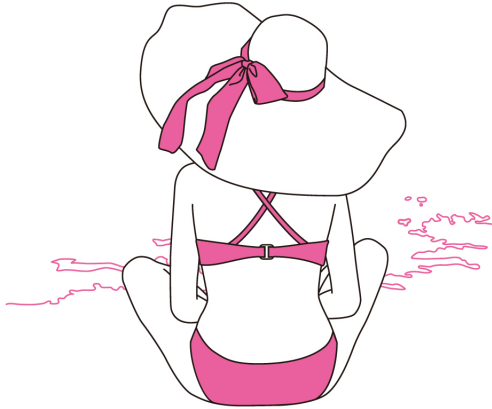
유방암이지만 비키니는 입고 싶어

ミス・キム・ライラック **미스킴라일락**

일상의 스펙트럼 03

## 유방암이지만 비키니는 입고 싶어

미스킴라일락



산지니

隨筆

978-89-6545-604-9

162 Pages

110\*178

2019

## ステージ4患者の遅しくて朗らかな毎日、 ブログに投稿する率直な話で希望を伝える

この本はがんステージ4だった著者が乳がんと告げられ、抗がん剤治療と再発を経験する日常を書いた「がん患者バージョンの日常エッセイ」である。著者はブログに自分ががん患者であることを堂々と知らせ、入院生活や抗がん剤治療の過程、そして回復後病院と自宅を行き来しながら受けたつらい治療過程を軽くて軽快に盛り込んだ。がん患者の日常を通じて同じ立場の人々を慰め、希望を伝える一方、病気になる前にはできなかったことに挑戦しながら第2の人生を生きている。

著者が5年以上の闘病生活から見つけたのは、死を恐れながら生きていくより日常の幸せを追求しながら生きるべきだということだった。乳がん患者ではあったが、病気がもっと深くなったり苦しくなる前にビーチでビキニを着たその日のように、夢ばかり見ていたことを日常で叶っていく。

通常、がんのように大きな病気にかかると、人は体だけでなく心まで病気になってしまいがちだが、それは自分からであれ周りの人からであれ、何で健康管理をちゃんとしてなかったかと非難されるからである。著者は何で自分ががんになったのか、何でこんなことが起こったのかについて自分を責めないことにする。重要なのは過去ではなくこれからであり、過ぎ去った時間ではなく残った時間だからだ。

ミス・キム・ライラック

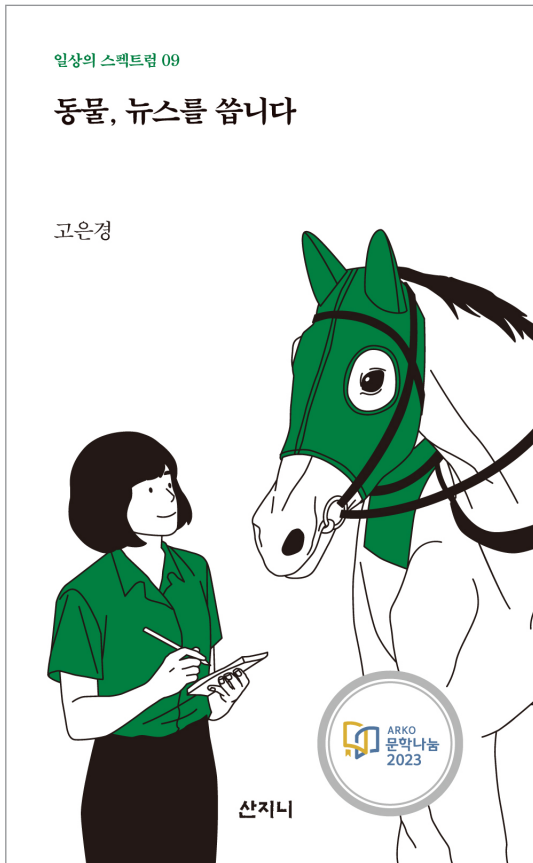
つまらない20代を持ちこたえ迎えた30代。だがその30代は乳がんの闘病に5年を過ごし、抗がん剤治療だけで90回を超えた。治療がつらいからといって、人生までつらくなる必要はないという考えで、乳がん前よりももっと朗らかな毎日生きようとしている。温もりと希望を伝えるエッセイストになるという夢を抱き、今日も不器用な文章を書いている。

# 動物、ニュースを書きます

ESSAY

동물, 뉴스를 씁니다

高恩卿 고은경



隨筆

979-11-6861-146-7

192 Pages

110\*178

2023

\* 2023 韓國文化藝術委員會 文學나눔 選定圖書

## 動物の、動物による、動物のためのニュースを書く動物福祉専門記者の取材記

本書は動物福祉を専門に扱う記者の職業と暮らしについて描かれたエッセイである。著者である記者のコ・ウンギョンは韓国日報のニュースレター「コ・ウンギョンのアニログ」の担当として読者に動物のニュースを届けている。本書は動物の記事を書くようになったきっかけや保護動物の里親探しコーナー「家族になってください」と動物のための署名運動「アニ請願」の誕生秘話、動物ニュースの取材記、飼い主の逸話などを収録。

著者は動物の目線から動物の問題を書くことを意識した。韓国ドラマ「ウ・ヨンウ弁護士は天才肌」がきっかけで世に知られたミナミハンドウイルカの‘ピボンイ’を野生にかえす過程における問題点や近年ゲームがきっかけで注目を集めた競走馬の負傷と引退後の人生など、本書ではこれまで扱われることのなかった動物をめぐる事件に迫っている。

また、動物ショーが盛んな海外の動物園に送られそうになったチンパンジーの‘クァンボギ’と‘クァンスニ’、動物の手術に使われる血液のために危険で劣悪な環境のなかに置かれている供血犬の問題などと、著者が初めて韓国社会に問題提起した事件の裏側について知ることができる。

人間みたいに話すことのできないため、自分の主張ができない動物たち。動物福祉は人間の利益と安全に対峙する形でいつも後回しにされる。このような状況のなかで著者は知られざる

---

2023年、確実に言えることはこの本は人間が書いたものではない。あまりにもよく犬の気持ちを理解していると感じるためだ。\_ 藤田小百合（タレント）

2023年、説得力のある文章のなかで多くの人々が動物が置かれた環境について改めて考え、変化を巻き起こす本になることを願う。\_ チョ・ヒギョン（動物自由連帯代表）

2023年、この本は動物のことを考えるすべての人の心に深い響きを与える。\_ チョン・ミョンソン（ソウル大学獣科教授）

動物福祉問題にスポットを当て、動物とともに生きる社会を描く。そして、動物の声に耳を傾ける人が増えることを願い、取材を続ける。

『動物、ニュースを書きます』には記者としての暮らしとともに、ペットの様子も描かれている。著者はペットの里親制度があまり知られていなかった20年以上も前にペットショップで犬の‘クルクリ’に出会う。衝動的に決めたことだったが、‘クルクリ’は家族になった。ペットを飼う人々が最も心配することは彼らの時間が人間よりもはやいことだ。16年と7か月をともにした‘クルクリ’がこの世を去ったあと、その喪失感とかなしみを本書に込めた。また、今飼っている犬の‘カラギ’との出会い、菜食志向に目指しはじめたきっかけと悩みを正直に綴った。ペットと喜怒哀楽をともにする著者の姿は多くの共感を呼ぶだろう。

#### 高恩卿

2003年から記者生活をスタート。飼い犬の‘クルクリ’と暮らすなかで動物問題に関心を持つようになり、韓国日報で動物ニュースを配信している。16年7か月をともにした‘クルクリ’を亡くしたあと、‘カラギ’と‘カラミ’の‘カカブラザーズ’と暮らしている。農場動物に対する関心は大量密集飼育問題意識につながり、2007年から菜食志向になった。マスコミが伝えない動物の声をちゃんと伝える必要があると考えている。動物のニュースをよりわかりやすく、リアルな映像で伝えるためにYouTubeチャンネル「しっぽと足裏」を運営中。

# マキシмумライフが嫌で

ESSAY

멕시멀 라이프가 싫어서

申貴善 신귀선



隨筆

978-89-6545-716-9

252 Pages

140\*205

2021

\* 베트남 著作権輸出

90年生まれの主婦がミニマルライフを始めたきっかけと、ミニマリストになっていく過程、そして子どもと一緒にゼロウェイストを実践する姿を綴った本。筆者は新婚のころは、可愛いものを買ったり家の中をパンパンに埋めつくすことを楽しむ、自称マキシマリストだった。ところがある日、こぢんまりとした18坪の官舎生活を始めてから子どもまで産むことになり、清潔から遠のいていく足の踏み場もない家の姿を見て、深く悩むようになる。掃除と整頓に費やすエネルギーをもっと家族に向けて、管理できる物のみにして今に集中する生活。大切な物と一緒に暮らすためのミニマルライフはそうして始まった。

申貴善

1990年生まれの普通の主婦で、簡潔で効率的に家庭を営んでいる。夜、子供がおやすみになると文章を書く。ミニマリストとしての生活を始めてから、家が好きになり、家事が楽しくなった。ミニマルライフとゼロ・ウェイストをテーマにSNSを運営し、多くの人と一緒に実践している。子供と散歩しながらゴミ拾い活動にも参加している。

# 誰が教えてくれなくても私は

ESSAY

누가 알려주지 않아도 난

俞址亨 유지향



大企業、公務員、試験、資格百万個…。何をして暮らそうか、どう生きようか？自分にできるだろうか？二十代の悩みは尽きず、果てしない放浪の旅のようだ。他の人に合わせて生きた末に、人生がむなしく崩れるのは見たくない若者たち。筆者も自身の人生を他人の物差しで測らずに、自らが望む、自分だけの道を歩もうと悩んできた。この本は、20代の青春の終わりを通り過ぎようとしているユ・ジヒャンのエッセイだ。自分の面倒は自分で見るのだと悟らせてくれる生態共同体(生態系への影響を最小限にとどめる暮らし方をする人々のこと)である「邊山共同体学校」でのリアルな暮らしの話や、筆者ならではの人生ストーリーは、やりたいことに向かってまだ一步を踏み出せていない若者たちに希望と勇気を伝えてくれる。

隨筆

979-11-6861-033-0

224 Pages

135\*200

2022

## 俞址亨

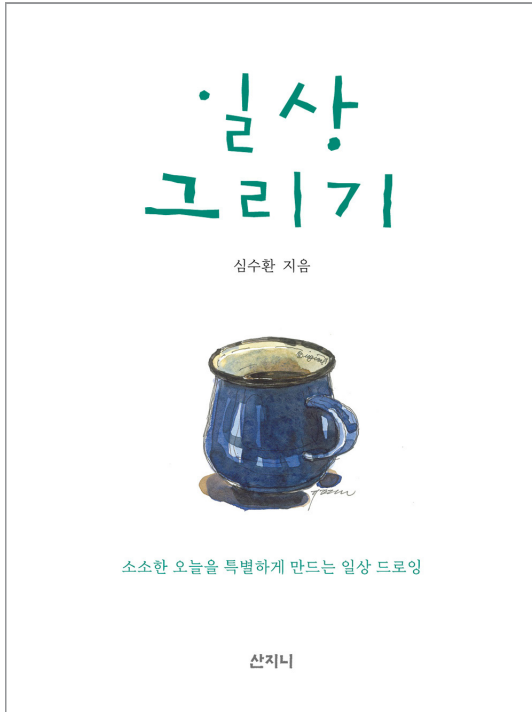
森の解説家。地球を守るという夢を抱いてソウル大学で森林環境学を専攻した。卒業後帰農し、3年間農業を営んだ。現在は森の解説家として森で遊ぶ楽しさを伝えている。20代は多彩な天候や季節がもたらす喜び、身をもって体験しながら学んでいく楽しさを堪能する時期だった。30代の頂点では、どんなところで何を堪能できるかを楽しみにしている。

# 日常を描く

ESSAY

일상 그리기

沈秀煥 심수환



芸術

979-11-6861-131-3

272 Pages

153\*205

2023

毎日の日常が退屈なら、流れてしまう今日を記録に残したいなら、今日から日常を描いてみよう。

風景を描く水彩画家「シム・スファン」は日記を書くように毎日の日常を絵に残す。テーブルの上に落ちた花びらのように、私たちの日常にあるささやかな物や風景がその対象になる。大した道具も要らないし、絵の対象を探しに遠くへ行く必要もない。小さな手帳と手になれたペンさえあれば、あなたがいる場所が画室で、あなたを取り巻くすべての物、人、場所が絵の対象になる。

絵に自信がなくても大丈夫。絵は特別な才能を持った人だけのものではない。あなたにもきっと真っ白な画用紙の上にすらすら線を引き、気の向くまま色を塗っていた子供時代があったはず。絵を楽しい遊びだと思っていたあの頃の自分を今再度呼び戻そう。

『日常を描く』には、著者が着実に記録してきた約180点の日常の絵が載せられている。日常の中の小物から周りの人、通勤の風景など、様々なテーマの絵を集めた。彼はしばらく立ち止まって日常を描くことで自分を取り巻く世界を感じ、細かく観察し、もっと愛する。

絵を描こうとする人はまずこういう質問をするだろう。「絵を描くためには何を学ばいいのですか」。著者は言う。「絵を描くのに必要なのは技術ではなく、対象を愛を込めてちゃんと観察する態度だ」。美術教育を正す活動も続けている著者は芸術としてではなくコミュニケーション

---

ョンとしての絵がもっと重要だと強調する。コミュニケーションとしての絵のためには技術や技法ではなく、対象を観察する方法、感心して好奇心を持つ経験が優先されるべきであるという。

#### **沈秀煥**

画家、美術教育研究家。

長い間、作家として作品を描きながら教育にも関心を持ってきた。特に美術教育とオルタナティブ教育に関心があり、ブサン教育研究所の副所長と理事を務め、ブサン・キョンサンナムド地域のオルタナティブスクールの設立と運営にも携わった。ヤンサン・子ども創造学校、ブサン・オンセミ学校、チャムビツ学校、そして教育共同体「ボツ(友)」などで代表職と理事も務めた。著書には『絵、どう指導するか』があり、作家としても展示会や講演など着実に活動を続けている。

# 分節された労働、変形した階級

## - 蔚山大工場の労働者の生涯と労働運動

분절된 노동, 변형된 계급 - 울산 대공장 노동자의 생애와 노동운동

兪亨根 유형근



労働

979-11-6861-097-2

512 Pages

152\*225

2022

\* 2023 大韓民国学術院 優秀学術図書

韓国・労働運動の中心地、蔚山(ウルサン)大工場の労働者を通じて、韓国大企業に勤める労働者による労働運動が時代によってどう変化したかについてまとめた一冊。

**工場の中と外、資本に包囲された労働。蔚山の大工場における労働階級形成の歴史と実態に迫る。**

1987年の労働者大闘争以降、蔚山大工場の労働者たちの暮らしや考え、労働運動を分析

蔚山は韓国最大の重化学工業都市であり、労働運動の中心地であった。本書は韓国を代表する産業都市、蔚山の大工場で働く労働者の暮らしや考えのほか、労働階級形成の観点から労働運動を考察する。民主化以降、過去35年間の急激な社会変動のなか、韓国の労働階級が歩んできた道について知り、今日の彼らの集団的実践がどこに向かっているかについて迫る。

本書は蔚山の大工場で働く労働者の階級状況、集団のアイデンティティ、集合行動の3つの層における変化の過程をそれぞれ追う。また、作業場の労使関係や労働運動だけでなく、労働者と労働者の家族の生活領域を分析することで、蔚山大工場の労働者の人生と彼らの労働運動の全体像を分析する。



---

### 労働階級の同質化から異質化へ、連帯の社会的基盤の侵食

蔚山の労働階級は1987年の大規模集合行動をきっかけに本格的に形成された。1990年代の蔚山の労働者の階級状況に大きな変化が現れた。この変化は「同質化から異質化」と呼ぶことができる。その効果は「連帯の社会的基盤の侵食」であった。蔚山の大企業の労働組合は団体交渉を通じた賃上げ闘争を中心に、組合員の戦闘的動員戦略を通じて階級形成を遂げた。しかし、大企業の労働組合運動の成果は労働者連帯の強化につながることなく、連帯の社会的基盤が崩れるといった逆説的な効果を招いた。1990年代の蔚山の産業労働者は全般的な階級状況のなか、同質的階級とはみなせないほど、異質的な存在となる。

### 階級の破片化か、階級の再形成かの分かれ道

韓国の大企業の労働者は同じ階級の地位を共有する労働者の連帯よりも彼らだけの排他的利害を追う分派的な傾向が強まる。今後、韓国の労働者が階級の再形成か破片化の経路のうち、どちらの道に進むかは「新たな連帯の形式」を築けるかに懸かっている。

#### 俞亨根

釜山大学一般社会教育科の教授として予備社会科の教師を教えている。ソウル大社会学科を卒業し、同大学院の博士号を取得。韓国労働社会研究所の研究委員、梨花女子大の研究教授、韓国産業労働学会の学術委員長、批判社会学会の運営委員などを歴任。現在、『経済と社会』と『産業労働研究』の編集委員、労働フォーラム・ナムの運営委員、釜山労働権益センターの諮問委員を務めている。専攻は労働社会学。労働運動、労使協関係、労働人権教育の分野について研究を行ってきた。近頃は未組織労働者の組織化と労働運動再活性化の国際比較、所有権の進化と職場民主主義の歴史などに注目している。

# 少女趣向成長記

SOCIETY

## - 私を成長させてくれた女性たちの物語

소녀 취향 성장기 - 나를 성장시킨 여자들의 이야기

李ジュラ 이주라



人文

979-11-6861-239-6

232 Pages

140\*210

2024

国内外の多様なマスメディア、小説、ドラマ、映画など22編を取り上げ、女性目線で考察した大衆文化批評書。

### 少女の物語からロマンス、そしてマイノリティの物語へ

### 目と耳を通して私を満たしてくれた世界について

少女の感受性やアイデンティティを育んだ様々な物語、女性が好むマスメディアの物語は「愛があればすべて解決するロマンチックなファンタジー」、または「幼稚な趣向」とけなされがちだ。本当に少女趣味は個人を社会と断絶させる雲をつかむようなバラ色の物語に過ぎないのだろうか。

文化評論家として活動するイ・ジュラ教授は、このような見方に対して「少女趣味は私を文学的に成長させた」という。そして国内外の多様なメディア、小説・ドラマ・映画など22編を取り上げて女性の視線で考察した。『少女趣向成長記』は、いわゆる「少女趣味」と呼ばれる女性の物語を分析し、その物語と世間との交わり方を繊細な視線で捉えた大衆文化批評書である。作品の中で少女は成長してアイデンティティを形成していき、女性は愛と関わることでアイデンティティを獲得しようと努める。そして最後には自分を取り巻く世界に目を開き、社会の様々な問題に思いを巡らす。

---

「私のハッピーエンドは結婚じゃない」と、少女は社会とぶつかりながら成長する。

この本は少女の成長過程で構成されている。第1部にはアイデンティティを形成する女性の成長物語が垣間見える作品を集めた。『赤毛のアン』はネットフリックスシリーズに至って以前の作品にみられた愛らしさではなく、憂鬱さや不安を露わにする「アン」のキャラクターを通して児童虐待やフェミニズムを取り上げ、世間とぶつかりながら成長する少女の物語に仕上げた。シャーロック・ホームズの妹を主人公にした『エノーラ・ホームズの事件簿』は、従来のシャーロック・ホームズには登場しないビクトリア時代の女性にスポットライトを当てた。少女の冒険と成長物語で、著者は既存の推理物のパターンにおいて見逃されていた女性の存在を表に出し、世の中の事に無関心なシャーロックの性格を「世の中に安住する態度であり、男性の特権」と皮肉る。

少女たちは愛と進路の悩みから始まり(『若草物語』)、女性としてのアイデンティティに目覚め、それを物語(『マイ・ブリリアント・フレンド』)にする。そして結婚後、家庭の主婦におさまってしまった自分の役目から抜け出して、社会的地位を築いていく(『Why Women Kill ～ファビュラスな女たち～』)。すべての個人の成長がそうであるように、女性の成長もまた複雑な自身の欲望にしっかりと向かい合い、社会の抑圧に立ち向かう過程である。

### 李ジュラ

文化評論家。円光大学文芸創作学科助教授。高麗大学国語国文学科を卒業し、同大学院で「1910～1920年代の大衆文学論の発展と大衆小説の形成」という論文で博士号を取得。慶熙大学の韓国語学科で博士後期過程を終え、翰林大学翰林科学院HK(人文韓国)研究教授を経て、現在、円光大学文芸創作学科の助教授として文化批評を教えている。著書に『植民地近代の始まりと大衆文学の発展』、『ウェブ小説家のためのジャンルガイド1ーロマンス』、『漫画ウェブコミック作家評論選ーパク・ヒジョン』、共著に『大衆物語ジャンルのすべて』シリーズ1～5巻、『純潔と淫乱』などがある。

# 多文化博士の'本物'の多様性の話

SOCIETY

다문화 박사의 '진짜' 다양성 이야기

趙亨淑 조형숙



人文

979-11-6861-004-0

224 Pages

148\*220

2022

本書は、多文化・バイリンガル教育を専攻した著者「チョ・ヒョンスク」が多文化を学んで教育しながら分かったことを今までの経験と共に読者に伝える。現在、様々な分野で多文化と多様性が議論され、世界中が多文化社会へと進んでいることから、韓国社会も多文化社会を迎えるためにはどのような準備をしなければならないかを教えてくれる。

チョ・ヒョンスクは2010年度に息子と一緒にアメリカに移住することでアメリカの多文化家庭になった。息子は英語が自由に話せなかったせいでよぎなく「多文化学生」になり、自分は「多文化ママ」になった。多文化家庭になった以降子どもの教育にもっと気を配るようになった著者は多文化・多言語教育について研究し始めた。この本ではその研究からわかった世界各地の多文化教育を詳しく説明する。

「人種」とは多文化主義や多文化教育の出発点で、17世紀に登場した資本主義が労働搾取を正当化するために導入した概念である。つまり、人種の間実際に差があって人種差別が生まれたわけではなく、差別するために差を作り出し、それが「劣等」だと決めたのが人種主義である。

本の第3章では著者の経験とともに「人種主義」を論じているが、そこで著者は「同じ白人でもその中で優劣が分かれるなど細かい基準があるのに、アジア人とアフリカ人は一括りにしてしまう」と指摘する。他にも多文化を研究する中で、比較的人種の差が少ない韓国では実感で

---

きなかった人種に関する概念にも気づく。アメリカで出会ったノーマ・ジン先生との会話、無料診療所での息子との経験、様々な国の留学生が参加した授業での経験などから人種主義の問題を説明する。

**趙亨淑**

10年あまり高校の教員として勤めた後、国際交流教育院の専任研究員と大学の入学査定官を経て、2017年度からはソウォン大学(旧チョンジュ師範大学)の教授を務めている。チョンチョンブクド教育庁の多文化教育振興委員とプサン市多文化家族協議会の委員として活動した。

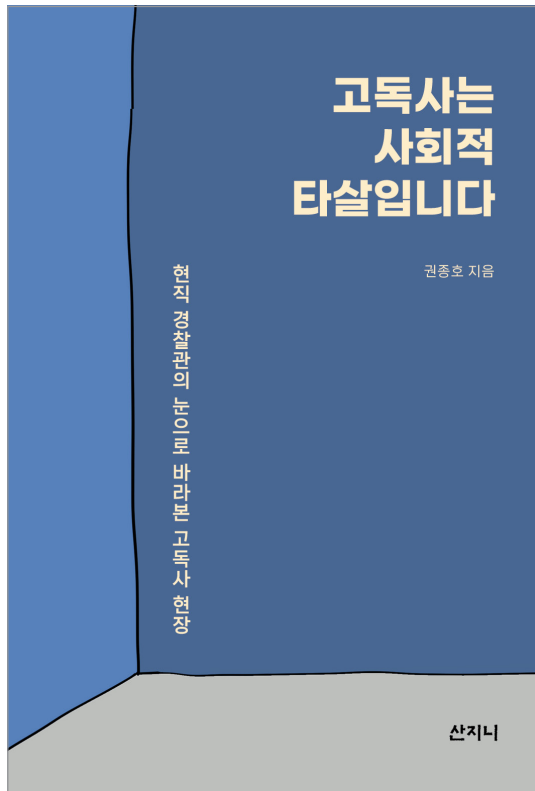
# 孤独死は社会的他殺です

## - 現職警察官が見た孤独死の現場

SOCIETY

고독사는 사회적 타살입니다 - 현직 경찰관의 눈으로 바라본 고독사 현장

權鐘昊 권종호



人文  
979-11-6861-133-7  
192 Pages  
135\*200  
2023

最も寂しい死、孤独死。私たちはなぜ孤独死を防ぐことができないのか。

孤独に生き、孤独に死ぬ。

単身世帯中心へと変化した家族構造、周囲の人々との断絶などで孤独に死を迎える人が毎年増えている。2022年に発表された初めての孤独死実態調査によると、孤独死による死亡事例は2017年から2021年まで年平均8.8%増加した。しかし、増える孤独死に比べて社会認識は非常に不足しており、実効性のある対策は出されていない状況である。孤独死の基準も曖昧だ。現行法では孤独死を「一定の時間が過ぎてから発見される死」と定義している。この「一定の時間」は福祉担当者の恣意的解釈で決定される。

韓国社会は孤独な死と孤独な人生という課題に直面している。『孤独死は社会的他殺です』は現職警察官である著者が関わった孤独死現場の残酷さと著者が考案した予防法を書いた本である。さらに著者インタビューを通して孤独死の関連政策と現状もまとめた。著者は孤独死の責任を負わない人はいないと信じ、住民センターや区役所、そして市役所をまわって孤独死という人災を知らせた。孤独死の広報大使を自任する著者とともに孤独死の現実に向き合ってみよう。

私たちは孤独死についてどれだけ知っているか  
この本は老人孤独死と青年孤独死の生々しい事例を扱っている。孤独死現場の様子と隠れた現実を明らかにする。孤独死の現実を知ること

---

は、孤独死の被害者を社会的弱者として十把一絡げに見るのではなく、独立した個人として認識する機会となるだろう。

孤独死は事実上、無縁故者よりも縁故者の事例のほうが多い。しかし、遺族の70%は経済的な問題などを理由に遺体の引き取りを拒否している。寂しい人生の終わりは誰の記憶にも残らない死になる。

死は誰にでも公平に訪れるが、その方法は極めて差別的だ。著者はこのような現実について語り、すべての人に自分が望むかたちで尊厳ある死を迎える権利があると主張する。私たちはみな、自らの死の主体にならなければならない。

### 経験から生まれた孤独死の予防法

著者は現場での経験を通して、自分だけの予防法をみ出した。生前契約と生活共同体を通じた家族の再誕生がそれだ。生前契約は、自分が望む支援と事後手続きを政府や政府から委任された団体と契約するものだ。これには生活、療養、介護、財産管理、葬儀手続きなどが含まれる。生活共同体は、複数が集まることのできる場所や一緒に暮らせる場所を提供して孤独な生活を防ぐことを目的としている。

#### 権鐘昊

1967年釜山生まれ。釜山影島にて青鶴小学校、海東中学校、恵光高校を卒業した。

1991年警察任用試験に合格した後、釜山影島警察署刑事係・調査係・捜査2係、釜山地方警察庁外事捜査隊、釜山鎮警察署刑事係に勤めた。現在は影島警察署知能犯罪捜査チームに勤務中である。

2005年、孤独死現場に初めて接してから、孤独死の現実と予防法を知らせるために努力している。

# ファッション、音楽映画を歌う

## - 19本の音楽映画からひもとく、 ミュージシャンが愛したファッションの物語

패션, 음악 영화를 노래하다 - 19편의 음악영화로 담아낸, 뮤지션이 사랑한 패션 이야기

陈庆玉 진경옥



芸術

978-89-6545-639-1

244 Pages

173\*230

2019

\* 베트남 著作権輸出

\* 2020 学校図書館ジャーナル 3月の本

19本の音楽映画を題材に、ファッションやコスチュームデザイナーのエピソード、ファッションの歴史を紹介する。

東明大ファッションデザイン学科の陣慶玉名誉教授が、『ファッション、映画をデザインする』『ファッション、映画をスタイリングする』に続き『ファッション、音楽映画を歌う』を出版した。前作では、映画の中の衣装がどのようにストーリーや人物の感情の変化を表すかを時代と国を超えた幅広い映画を通じて紹介したが、今作では韓国の観客に特に愛されている音楽映画のみに絞って構成した。

著者は音楽映画をロック・ヒップホップ・バンド、ポップス・ジャズ、クラシック、ミュージカルにジャンル分けし、その衣装が大衆文化やファッション界に影響を及ぼした映画を中心に紹介している。映画の主人公たちのファッションの話だけでなく、映画衣装を手掛けるコスチュームデザイナーと衣装に隠された裏話、ファッションの歴史までひもとく。もちろん、音楽映画に必要な不可欠な音楽の話も聞かせてくれる。

『ボヘミアン・ラブソディ』のフレディ・マーキュリー、『ラ・ラ・ランド』のミアとセバスチャン。われわれは彼らを「音楽とファッション」で記憶している。

「音楽映画」とは音楽が映画の主な要素となる、音楽家の生涯を扱ったドキュメンタリー映



---

画や音楽がセリフとシチュエーションの代わりをする映画を指す。素晴らしい音楽映画のサウンドトラックは長く人々の記憶にとどまり、歌だけでも映画を思い出させる。だが、われわれは映画の主人公を音楽だけでなくファッションでも覚えていることがある。フレディ・マーキュリーのジャンプスーツ、『ラ・ラ・ランド』のミアの緑と黄色のドレス、ビートルズのマッシュルームヘアとノーカラージャケットのスーツ、『ムーラン・ルージュ』のサティーン赤のドレス。映画の中のファッションは登場人物の感情やストーリーと連動し、観客はファッションで映画をイメージ化して記憶する。

### ミュージシャンのファッションはどのようにして大衆文化をリードするようになったのか？

『ファッション、音楽映画を歌う』では、スタイルの教科書の役割を果たしてきた映画、なかでも音楽映画に登場するミュージシャンのファッションを概観できる。これは大衆文化の三つの軸である音楽、ファッション、映画がどのようにシナジーを生み、大衆文化に根付いているかに改めて注目する機会になるだろう。

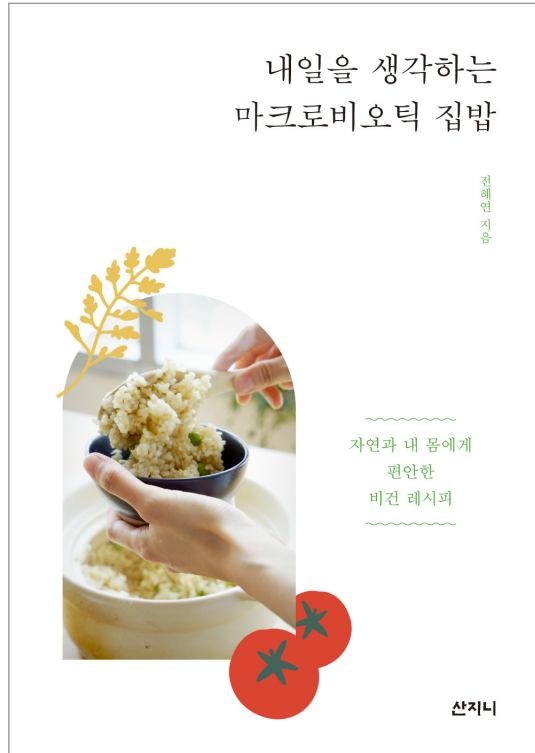
#### 陈庆玉

梨花女子大と同大デザイン大学院を卒業し、米ニューヨーク州立ファッション工科大 (F.I.T.) でファッションデザインを専攻した。慶熙大でファッションデザイン専攻の博士号 (理学) を取得し、東明大ファッションデザイン学科教授を経て現在名誉教授を務めている。米ロードアイランド大 (URI) でファッションドレーピングの講義を担当し、社団法人韓国ファッション文化協会と韓国ファッション造形協会の会長を歴任。ファッションスタイリストとしても活動している。1995年に第26回<中央日報>全国衣装デザインコンテストで大賞を受賞し、2010年には国際ファッションアートビエンナーレで作家賞を受賞した。ファッションデザインの個展を6回行ったほか、ファッションショーや国内外のグループ展に約100回参加するなど旺盛な活動を続けている。著書に『ファッション、映画をスタイリングする』『ファッション、映画をデザインする』『Insight Fashion Design』『彼女たちはなぜ服を着るのか』『ファッションデザインの理解』『ファッションデザインドレーピング』がある。

# 明日を考えるMacrobiotic Home Cooking SOCIETY

내일을 생각하는 마크로비오틱 집밥

全慧淵 전해연



实用

979-11-6861-003-3

224 Pages

148\*220

2022

素材本来の味を活かし、毎食を心待ちにさせてくれるMacrobiotic Home Cooking料理本。この本には、Macrobiotic食堂の「今日」とヴィーガンクッキングクラスを営む作家の料理法やマクロビオティック的な生活様式がたっぷりと込められている。著者は、都市で生活し働く普通の現代人となんら変わりはありませんでした。仕事や世の中から重圧を受け、出前のご飯で空腹を満たし、飲み会で心を癒す生活を繰り返していました。そんなある日、出会った「マクロビオティック」という生活様式は、著者の暮らしを変えました。オーガニックのマーケットで食材を選び、春にはタラの芽を、冬にはほうれん草を食べます。素材本来の甘さを活かしながら毎食を心待ちにさせるマクロビオティック的な食事で、彼女の食卓はもちろん、人生においてもより良い明日を夢見るようになりました。この本を通じて著者は、こうした生活様式や料理本を私たちに伝えてくれます。

## 全慧淵

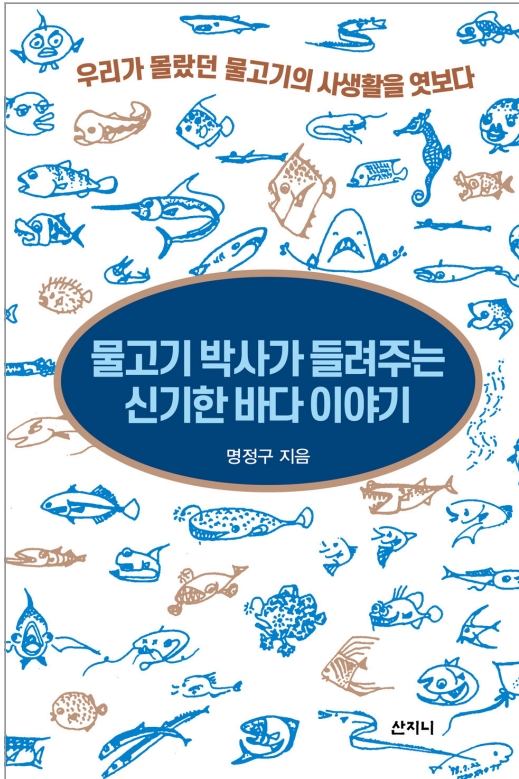
日本京都で勉強し、東京で会社員として働いた。ワーカホリックだったせいで健康を失い退職したが、その休職期間中マクロビオティックに接し、ベジタリアンになった。生まれつき真面目な性格のお陰様でマクロビオティックの勉強にも頑張り、日本のマクロビオティッククッキングスクール「リマ」の最上位コースであるインストラクターコースを修了。現在はマクロビオティックの普及のためにメニューとカリキュラムを開発しながら、ポップアップレストラン「今日」とマクロビオティッククッキングクラスを運営している。

# 魚博士が聞かせてくれた不思議な海の話

SOCIETY

물고기 박사가 들려주는 신기한 바다 이야기

明正求 명정구



科学

978-89-6545-714-5

256 Pages

152\*225

2021

\* 2021年5月ブックシード人文教養部門おすすめ  
図書

海。原始地球の秘密を秘めた生物種が住んでおり、地球の歴史の中で進化、絶滅、新しい種の誕生を繰り返す多彩な生命現象の饗宴が繰り返られる場所。自他ともに認める魚博士であるミョン・ジョング教授は、40年以上にわたり世界中の海を巡り、水中探査を通じて様々な魚に出会い、水中世界を研究してきた。生涯を魚と海洋生態系、水産資源の探求に打ち込んできた著者は、研究者生活を終え、これまでの話を一冊の本にまとめた。水中探査を通じて知り得た魚の生態について生き生きと語り、海と生命に関する著者の哲学、海を夢見ていた海の少年が海洋生物学者になるまでの過程を解き明かした。

明正求

1984年から韓国科学技術院の付設機関である「海洋研究所(現・韓国海洋科学技術院)」で働き始め、2020年12月まで海洋牧場の研究など、科学潜水による研究を続けた。研究員兼教授として働いた36年間、海は暗記して勉強するものではなく、理解していくものであると分かった。1990年代から潜水の専門家グループである韓国水科学会で活動し、2020年まで約10年間会長を務めるなど韓国の科学潜水研究に貢献した。

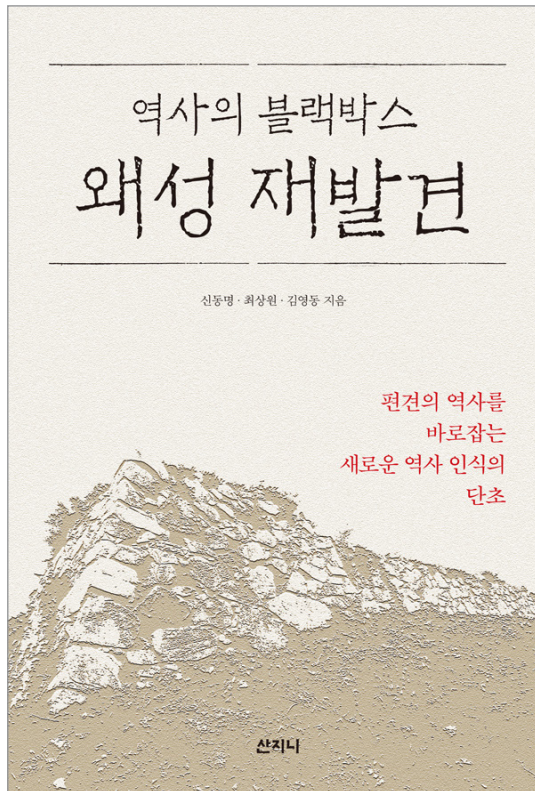
# 歴史のドライブレコーダー：倭城の再発見

## - 偏見の歴史を正す新しい歴史認識の端緒

HISTORY

역사의 블랙박스, 왜성 재발견 - 편견의 역사를 바로잡는 새로운 역사 인식의 단초

申東明 신동명·崔祥源 최상원·金英東 김영동



歴史

978-89-6545-719-0

224 Pages

167\*247

2021

31の倭城の全体を取材し、倭城に対する誤解と真実を正し、文禄慶長の役を現代的な視点から再解釈する。

### 31の倭城を通じて、420年程前の歴史の中のその日を再構成する

倭城は文禄・慶長の役という約420年前の時間をそのまま残した歴史のブラックボックスだ。倭城は釜山を中心に蔚山から全羅南道麗水まで、韓半島の東南海岸一帯に分布しており、今では日本でも見られない日本固有の様式の城郭の原型が残っている。文化的、歴史的価値があっても、倭城は文禄・慶長の役の侵略を代弁する遺跡として認識され、冷遇されてきた。これに対し、『歴史のドライブレコーダー、倭城の再発見』は31の倭城全体を取材し、文禄・慶長の役を現代的な視点で再解釈した。この本でしか見られない約420年前の文禄・慶長の役、倭城を通じて歴史になってしまったその日の記憶を呼び起こしてみる。

### 倭城に関する誤解と真実

文禄・慶長の役の7年間、倭軍は蔚山から全羅南道順天まで東南海岸一帯に城を築いた。現在の行政区域で、倭城は釜山11ヵ所、蔚山2ヵ所、慶尚南道17ヵ所、全羅南道1ヵ所の計31ヵ所に作られた。倭軍が文禄・慶長の役の時に朝鮮に設置した軍事施設ははるかに多いが、関連学界が城と認定するのはこの31の城が全てである。

---

「倭城」という名称は倭軍が築いた城として命名されたもので、ほとんどが川や海の近くの四方を見下ろせる独立した丘陵に位置している。倭城は朝鮮の邑城とは異なり、幾重にも囲まれた城郭を外から一つずつ順番に突き抜けなければ中心に辿り着けない構造であり、防御にふさわしい城である。実際、文禄・慶長の役の間、朝明連合軍によって占領された倭城は一つもなかった。

このような倭城に関して、人々はどれだけ知っているだろうか。倭城はその存在自体が韓国では不慣れでもあり、一方では否定的な認識を与えたりもする。文禄・慶長の役当時、倭軍が作った城であるため、韓国民族の恥辱の象徴として認知されるためだ。しかし倭軍がなぜ倭城を築いたのか、その歴史的事実に近づくとその認識は変わる。

韓国の歴史の一断面であり、国難を克服した韓国の先祖たちの堂々とした戦利品である倭城。今や倭城に対する誤解と偏見をおさめ、新しい歴史認識の礎を築く必要がある。

#### **申東明**

1989年3月1日、ハンギョレ新聞社に修習公採2期地域記者として入社し、28年間釜山と蔚山で取材活動をしている。

#### **崔祥源**

2000年からハンギョレ新聞本社所属。記者生活をしながら大学院で言論史を専攻し、新聞放送学博士号を取得した。

#### **金英東**

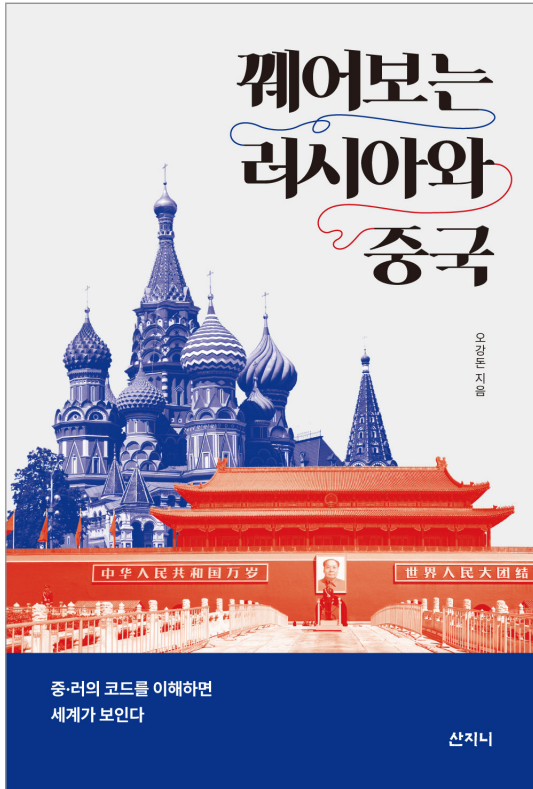
<ハンギョレ>地域エディター席嶺南チーム釜山地域記者。1977年生まれで釜山大学司法学科を卒業した。家でぶらぶらするのが好きで、床が一番親しい。かっよく見えるという理由で記者を夢見た。v

# 見抜く、ロシアと中国

퀘어보는 러시아와 중국

吳剛敦 오강돈

HISTORY



歴史

979-11-6861-130-6

272 Pages

152\*225

2023

## 中国とロシア、第二世界を理解するための入門書

ロシアを知れば中国が、中国を読めばロシアが見える、中ロを貫いて結べば、私たちの活路が見える。

ロシアとウクライナ戦争のバタフライ効果は、一波万波である。原材料価格の上昇は暖房費の爆上がりにつながり、さらに米中葛藤、中国の台湾侵攻の可能性まで、世界情勢は揺れ動く。葛藤と戦争の被害は、もっぱら庶民に降りかかる。我々はどう対応すべきか。本書は、従来の米国と欧州中心だった第一世界中心の見解を、ロシアと中国に広げることを提案する。

本書は、国際関係で独特な姿を見せるロシアと中国を比較文化、地政学の観点で説明する。第1章ではロシアと中国の葛藤と協力を、第2章では両国の食べ物、住居、マスカルチャーを扱う。第3章では、より具体的な医療、記念日などの日常を紹介する。第4章は教育、放送、身分証などの国家体制を論じる。もはや中・露という第二世界に対する認識は選択ではなく必須である。両国をよく知ってこそ、我々の活路が見えてくるからである。

## キーワードで解く比較文化授業

この本は中国とロシアを政治、経済、社会、文化の種類別キーワードで易しくて面白く説明している。チャ(茶)とチャイ( Чай)、ギョーザとペリメニ、「ピンクワン」と「ガスチニツァ」……。また、両国の国章に込められた象徴と意味を説

---

明し、国民意識を政治化する過程を語る。その他にも、国家指導者の遺体保存、スポーツ、映画、ソーシャルメディアなど興味深い題材が満載されている。長い間、グローバルマーケティングを担当してきた著者は、過度に学術的でも、軽すぎもしない実用的な情報を提供する。この本は両国を理解する上で、素晴らしい入門書になるだろう。

### 朝鮮半島の平和と北東アジア繁栄の道

この本はロシアと中国を説明することにとどまらない。それらと共に大韓民国の歴史、政治、経済、社会、文化なども扱う。社会主義で通じる北朝鮮、北東アジア関係で欠かせない日本も論ずる。文化は他の文化と一緒にいればより豊かになる。中国とロシアという第二世界を通じて、読者は大韓民国の昨日と今日、そして明日を覗く機会を得ることができるだろう。

#### 吳剛敦

地政学的位置、歴史と文化、そして未来世代の暮らしに興味を深く持つ人間である。国際経済が国際政治の影響をあまりに多く受けるようになったが、我々は依然としてグローバルで国富を創出すべきと信じる。ソウル大学政治外交学部を卒業し、上海外国語大学で現地の人々と共にコミュニケーション修士を取得した。空軍将校として40ヵ月勤務。30代では、サムスングループのチェイル企画で韓国国内広告チーム長として働いた。40代はチェイル企画グローバル広告チーム長、中国と旧ソ連西部の6カ国などでサムスン携帯電話のグローバルマーケティングを担当した。『中国市場と消費者』を出版し、韓中マーケティング株式会社代表理事。

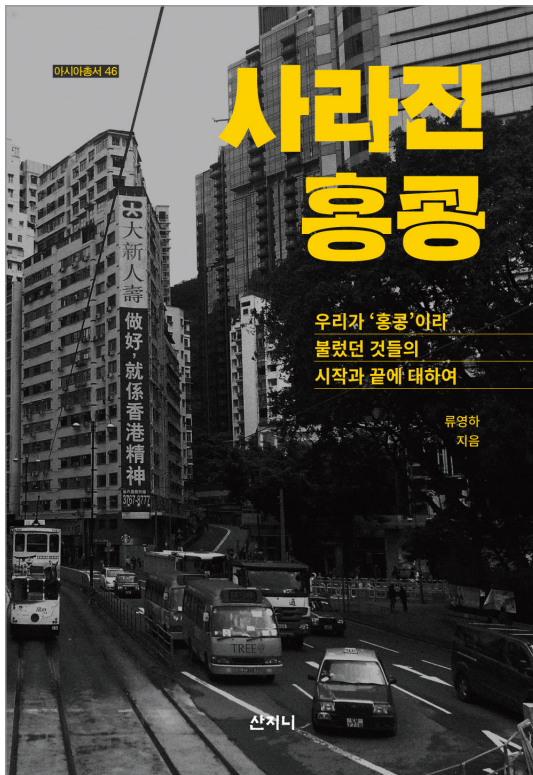
# 消えた香港

HISTORY

## - 我々が「香港」と呼んだものの始まりと終わりについて

사라진 홍콩 - 우리가 '홍콩'이라 불렀던 것들의 시작과 끝에 대하여

柳泳夏 류영하



歴史

979-11-6861-169-6

368 Pages

145\*210

2023

\* 台湾 著作権輸出

1840年のアヘン戦争から今に至るまで、香港のアイデンティティがどのように変化してきたのかを整理した本である。

あなたが知っていた香港は消えた。

我々の記憶する「香港」の始まりと終わりを探して

約30年間、香港を研究してきた柳泳夏教授は『消えた香港』を通じて、中国と香港のアイデンティティはそれぞれどのような特性を持っているのか、なぜ両方のアイデンティティは衝突せざるを得なかったのか、両国間の葛藤の解決策はあるのかを模索している。

1840年のアヘン戦争以降、英国の統治下で形作られた香港の歴史は、1997年の中国への主権返還以前と以後に分けられる。そして2020年6月に発効された香港保安法によって、香港の歴史はさらに区分される。香港保安法の発効は、中国の立場では頭の痛い香港を平定した「神の一手」であり、香港の立場では「痛恨の一手」だった。香港保安法発効以降、香港の人口減少と頭脳流出現象が深刻化し、「外国勢力との結託」という罪名で活動家たちが逮捕され、人文学関連セミナーが消え、香港のアイデンティティを扱った本の出版は中止された。

主権返還の2年後から香港人の不満が表面化し始めた。1999年から始まったデモは、2016年警察とデモ隊の間で激しい衝突の起きた「おでん革命」等につながり、香港のアイデンティティを



---

政治的に結集させた。2014年に直接選挙を勝ち取るために香港の都心を占領した「雨傘運動」は79日間展開され、2018年に台湾で発生した殺人事件に触発された送還法反対デモには香港市民約200万人が街頭に出た。このデモは送還法反対と共に香港の民主化を要求し、政府が送還法を公式撤回したにもかかわらずデモは続いた。

2020年初め、全世界を強打したコロナ事態は香港民主化運動にも影響を及ぼし、2020年6月中国政府は待っていたかのように香港特別行政区国家保安法を公布した。香港の歴史は2020年6月30日を基準に再び分かれる。その日以降、香港での政治的デモは消え、さらにSNSでも香港の人は静かだ。

中国が香港を確固たる中国アイデンティティで抱き込もうとするので、香港は自分のアイデンティティを守護するために努力してきた。しかし、不動の中国のアイデンティティに比べ、香港のアイデンティティはさらに速いスピードで分裂していった。香港はすでに滅びたのだろうか。明らかなことは私たちの知っていた「香港」は消えた。しかしアヘン戦争以降に新しい香港の歴史が始まったように、もしかしたら以前にはなかった新しい香港の歴史が始まったのかもしれない。

#### 柳泳夏

白石大学中国語学専攻教授。韓国で中国語中文学科を卒業し、香港で中国現代文学理論専攻で修士号と博士号を取得した。国立台湾大学人文社会高等研究院とアメリカのUCバークレー中国学センターの訪問スクーラーを経験し、中華民国政府の招請で国立清華大学台湾文学研究所(大学院)で一学期間、講義した。著書として『台湾散策』、『方法としての中国-香港体制』、『香港散策』、『香港弱化-以香港歴史博物館的敘事為中心』、『中国民族主義と香港本土主義』などがあり、翻訳書として『ポスト文化大革命』、『上海からの手紙』などがあり、編著として『中国百年散文選』などがある。その他、約30編の論文を発表した。

# 東アジアエキスポの歴史 - メガイベントの感性工学

HISTORY

동아시아 엑스포의 역사 - 메가 이벤트의 감성공학

河世鳳 하세봉



東アジアエキスポの歴史を通して当時の時代状況を検討し、現在のエキスポがもつ意味を考える本だ。

2030年国際博覧会の開催地がどこになるのか、世間の関心を集めている。2030年国際博覧会の誘致競争は、今もサウジアラビア、イタリア、大韓民国の3カ国間で熾烈にくり広げられているのだ。博覧会の誘致および開催には国家的に莫大な費用がかかるが、世界各国は依然として博覧会誘致のために火花を散らしている。しかし、博覧会の地位は以前のようなのではなく、訪問観光客も減少傾向にある。このような状況で博覧会がもつ経済的効果に疑問を提起する人もいる。では、いま博覧会がもつ意味は何だろうか。

『東アジアエキスポの歴史』は、1851年ロンドン博覧会から2012年の麗水博覧会まで東アジアを中心に博覧会の変遷史を扱っている。文明と科学、娯楽と消費主義、イデオロギー、環境生態の時代に分けて博覧会の歴史を扱う。

著者は東アジア博覧会について、時代状況とあわせて開催地のもつ特徴を説明する。東アジアでは博覧会は日本から始まった。最初の博覧会として1877年東京で開かれた第1回国内勸業博覧会が挙げられる。20世紀になると、日本は博覧会をスペクタクル化するための産業的、財政的基盤を保有するようになり、日清戦争で台湾を植民地にし帝国として変貌していた。中国は日本とは対照的に博覧会の必要性に共感でき

歴史

978-89-6545-578-3

480 Pages

152\*225

2019

\* 2019 世宗図書学術部門選定図書

---

ず、1910年になってはじめて南洋勸業会と呼ばれる博覧会が南京で開かれた。朝鮮で初めて開催された博覧会は1907年の京城博覧会だったが、統監部の企画でソウルに居住していた日本人商人を先頭に行政機関を動員して開催された。台湾も日本の植民地だったが、日本本土とは距離があったため、朝鮮とは異なる性格の博覧会が開催された。

著者は博覧会で使われた象徴的な建築物や展示品、写真、ポスターなど視覚的なメディアを通して観覧客に博覧会の情報がどのように伝達され解釈されるかを分析する。また、同じ展示でも観覧客の国家状況により異なっている現象について興味深く扱う。

博覧会の開催には巨大な企画と資本が投入される。ここに国家と企業のイデオロギーが注入されることもあれば、これと関係なく受け入れて消費する大衆もいるのである。博覧会は開催地の名声を高める一方で、一時的な幻想にとどまる場合もある。本書は東アジア博覧会の歴史をふまえて、メガイベントがもつ光と影を明らかにする。

#### 河世鳳

釜山大学史学科を卒業し、修士課程を経て博士号を取得した。現在、韓国海洋大学東アジア学科に在職している。東京大学東洋文化研究所外国人研究員、台湾中央研究院台湾史研究所、中山大学アジア太平洋研究所、復旦大学歴史地理研究所などで訪問学者として研究を行った。

「東アジア」という枠組みで博覧会、博物館を題材に研究する一方で、近年は海洋史に関心を寄せている。また韓国をはじめ東アジア学界で生産される歴史学の知識そのものについても注意を払っている。

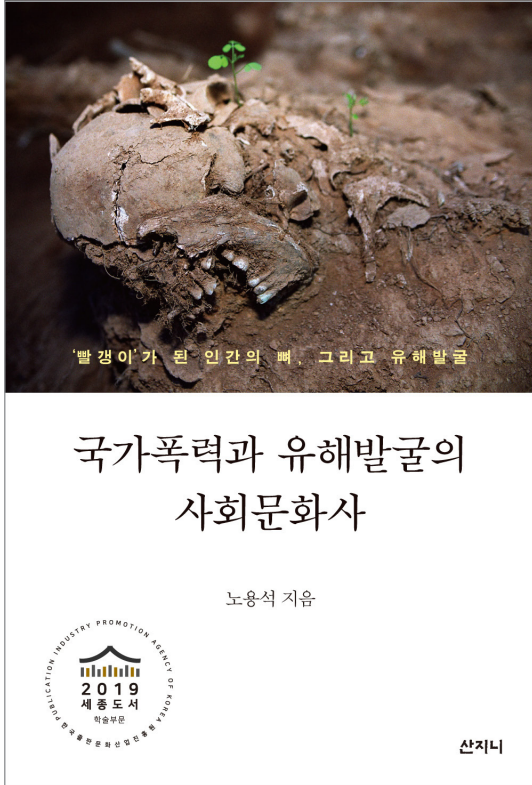
著書に『東アジア歴史学の生産と流通』、『歴史知識の視覚的造形：東アジア博物館の歴史と展示』がある。

# 国家の暴力と遺骸発掘の社会文化史

HISTORY

국가폭력과 유해발굴의 사회문화사

盧勇錫 노용석



歴史

978-89-6545-541-7

320 Pages

152\*225

2018

\* 台湾 著作権輸出

\* 2019 世宗図書学術部門選定図書

朝鮮戦争の前後、国家の暴力により虐殺された被害者の遺骸発掘を通じ、韓国現代史を改めて考察する本。

朝鮮戦争前後の民間人虐殺研究と遺骸発掘事業を主導してきた著者は、この本を通じて朝鮮戦争前後に国家の手で行われた民間人虐殺の展開過程を明らかにするとともに被害者の遺骸発掘の過程およびその象徴的な意味について考察する。

本書で最も注目すべき点は、国家暴力の起源と過程に「骨」と「発掘」という要素を通じてアプローチしていることだ。遺骸発掘は、法医学的な技術を動員して地中に埋められていた遺骸を世に引き出すこと以上に、ひとつの社会の記憶と記念の政治の象徴性を示し得る重要な表象となる。遺骸発掘の主体と具体的な手法が国家暴力事件の本質や有り様を当該社会がどのように扱っているのかという問題と直結するためだ。

著者は遺骸発掘の過程を現場から得た豊富な事例と資料に理論を加味し、1950年代から現在までを時代順に整理した。併せて、遺骸発掘の意味を単に家族の遺体を見つけるという『狭い単位』から国と人間の普遍的人権を語る『広い単位』へと拡大させ、ひいては韓国現代史において忘れ去られた『正常でない死』を政治の象徴性を示す重要な表象として浮かび上がらせている。

「序論」では死、儀礼の定義から歴史清算の意義、遺骸発掘が盛んにおこなわれる理由まで、歴

---

史清算と遺骸発掘の背景知識を紹介する。第1章「遺体を探す『幽霊たち』」では、朝鮮戦争時の民間人虐殺の概要、規模、形態について詳細に紹介する。第2章「遺骸収集と新たな恐怖」、第3章「弱体化した『公然の秘密』と遺骸発掘の多様化」では、民間人虐殺以降、理念の対立によりたやすいことではなかった遺骸発掘の過程と4.19革命以降に間歇的に行われた遺骸発掘の過程を扱う。第4章「国家と遺骸発掘」、第5章「社会的記念への転換」、第6章「階層化された死と社会的記念の国家主義化」では、盧武鉉政権以降、国の主導のもとで行われた遺骸発掘と遺骸発掘が社会的な行為に転換される過程を説明する。最後の補論「ラテンアメリカ歴史清算と遺骸発掘」では、ラテンアメリカの遺骸発掘事例を紹介し、考察の範囲を広げる。

#### 盧勇錫

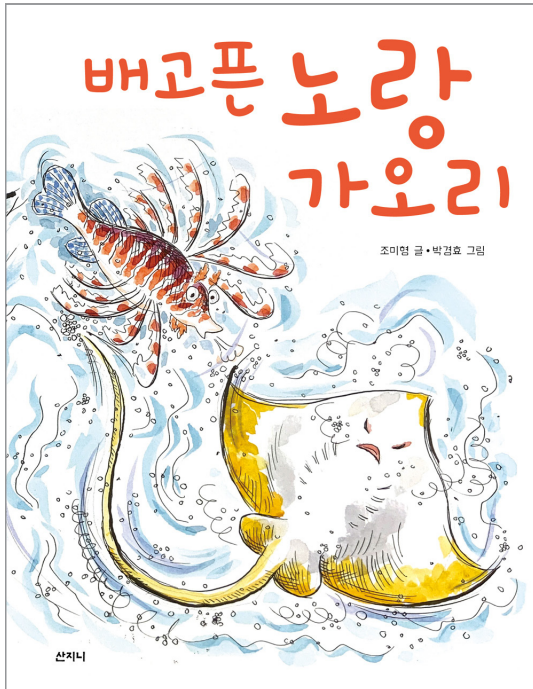
2005年に嶺南大学文化人類学科で朝鮮戦争前後の民間人虐殺研究により博士号を取得した(論文タイトル「民間人虐殺を通じて見た地域民の国家認識と国家権力の形成」)。その後、2006年に真実和解のための歴史整理委員会で朝鮮戦争前後の民間人虐殺被害者の遺骸発掘事業を総括した。現在、釜慶大学国際地域学部教授として在職している。著書に『ラテンアメリカの歴史清算と民主主義』、『暴力と疎通』(共著)、『トランスナショナル労働移住と韓国』(共著)がある。

# お腹のすいたアカエイ

CHILD

배고픈 노랑가오리

赵美亨 조미형



近年、海洋汚染が深刻になり、プラスチックごみによって死んでいく海洋生物のニュースが相次いで報道されています。『お腹のすいたアカエイYellowStingray』は、海洋ごみのせいで苦しむ海の命に関する話だ。餌が見つからずお腹をすかせた「アカエイ」とその友達「ミノカサゴ」や「ジンベイザメ」をはじめとし、ビニール袋に閉じ込められてしまった子供のウミガメなど、様々なキャラクターを登場させて汚染された海の中の姿をリアルに伝えます。作家は汚染された海を通じて、プラスチックごみによる生態系の破壊の深刻さに気づき、環境汚染がもたらす未来に悩む姿を『お腹のすいたアカエイ』を通して表現します。

児童

978-89-6545-747-3

32 Pages

214\*278

2021

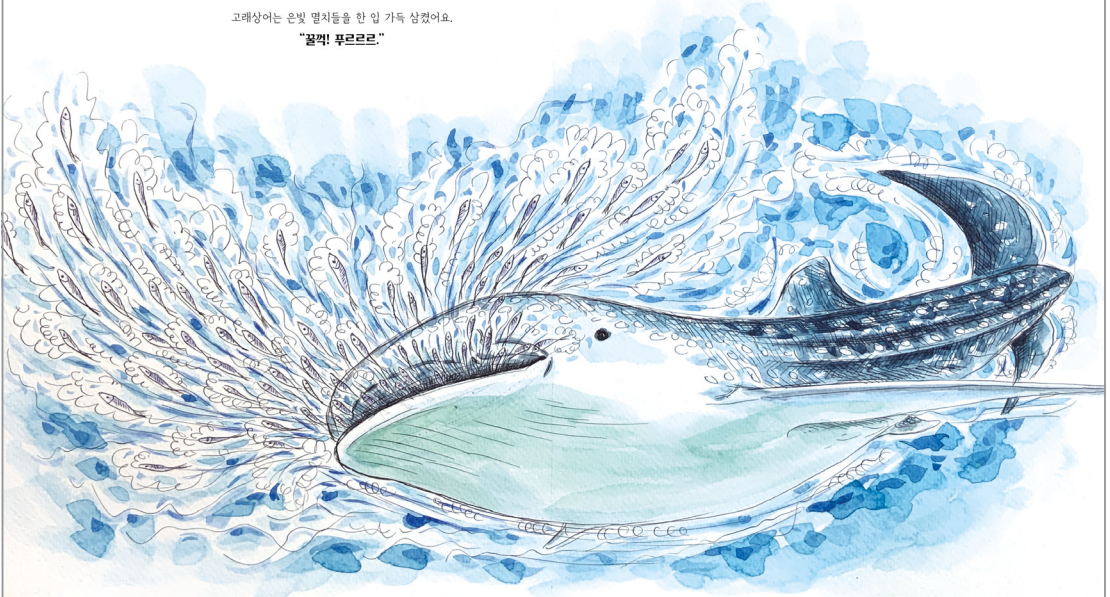
## 赵美亨

子供の頃は海の探検家になりたかった。現在は夢と希望、冒険と慰めを伝える様々な文章を書いている。中国に版權が輸出された海洋冒険ファンタジー童話『ヘオリの海の秘密』が多くの子どもたちに愛されている。海や歩くのが好き。昔ながらの道を歩きながら、奇妙で面白い童話を書くことに手をかけている。

물빛이 고운 남해 바다. 크고 작은 섬들을 따라 나뭇가지 모양 해안이 이어져 있어요. 남해 바다에 사는 고래상어는 꼬리지느러미를 힘차게 흔들며 먹이 사냥에 나서어요. 너물거리는 해초 숲 근처에 은빛 멸치 떼가 나타났어요.

맛있는 멸치로 배를 채운 고래상어는 기분이 좋아 넓적한 주둥이를 흔들었어요. 고래상어는 친구들을 만나러 갔어요.

고래상어는 은빛 멸치들을 한 입 가득 삼켰어요.  
"꿀꺽! 푸르르르."



소리깨이 짝이긴 친구들이 바위 근처를 지나는데 꺾꺾거리는 이상한 소리가 들렸어요. 황해강옆이 몸을 이리저리 돌리며 주변을 살피어요. 고래상어가 말했어요.

**"깜깜한 옆에 뒤집어져 있는 거 기척이 아닌가?"**

얽힌 말미잘, 노란 말미잘, 초록 해초들이 다닥다닥 붙어 있는 바위 옆에 넓적하고 둥그런 바다거북이 뒤집어져 있었어요.

노랑기오리가 푸둥하게 말했어요.

"나 해초뜨, 빨리 가라!"

황해강옆이 바다거북 쪽으로 슬금슬금 다가갔어요.

"아기 바다거북아, 다들 움직이지 말라!"

고래상어도 바다거북을 보러 갔어요.

노랑기오리는 꺾음이 나치 꼬리로 해초를 툭툭 찢어요.

멸치 떼를 먹고 싶았거든요.



황해강옆은 아기 바다거북한테 다가갔어요. 아기 바다거북은 일어나 움직이지 말도 제대로 못 하고, 슬픈 기우겨우 쇠고 있었어요. 고래상어가 놀라 소리쳤어요.

**"아기 바다거북아, 너 몸통에 걸고 있는 거 뭐야?"**

아기 바다거북은 커다란 눈에 눈물을 대롱대롱 달고 눈을 깜빡였어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

고래상어는 머리로 아기 바다거북 몸통을 살살 밀었어요.

뒤집어져 있는 아기 바다거북은

고래상어의 도움으로 몸을 돌릴 수 있었어요.

# 黄金色の魚

황금빛 물고기

金奎廷 김규정

CHILD



児童

978-89-6545-199-0

32 Pages

210\*297

2012

\* 2013年、『学校図書館ジャーナル』の推薦図書に選定

\* 2013年、文化体育観光部の「優秀教養図書」に選定

「流れ流れ川」の黄金色の砂を食べて生きるため全身が黄金色に輝いたずらっ子「黄金色の魚」は流れ流れ川を仕事場として生きていく金砂村の人々を助けてくれる良い魚である。漁師のおじさんの方に魚を追いやってくれたり、子供たちを背に乗せて遊んでくれたり、街灯が壊れた時は自分の黄金色の歯を抜いて暗い路地を照らしてくれたり、赤ちゃんの世話もしてくれる。

そのある日、流れ流れ川が泥水になってしまう。大きな化け物は金砂村の人々の家を壊し、真っ黒なコンクリートは黄金色の魚が食べる砂を覆ってしまう。漁師のおじさんも、遊びに来る子供たちもいなくなった川で、黄金色の魚はもう生きていられない。黄金色の魚はみんなの黄金色を奪ったビルの方へ誰にも聞こえない最後の挨拶を残して消えていく。

この本で「黄金色」は魚とビルという、全く異なる属性の2つの対象を象徴する。『黄金色の魚』を読んで、私たちが本当に求めるべき「黄金色」とは何かを改めて考えることができる。

## 金奎廷

ブサン・クワンアンリ、石造りの小さな家で妻と娘と一緒に暮らしている。近いうち、色彩豊かな絵がたくさん入る楽しい物語の本を通じて世界中の読者と出会う予定。労働漫画ネットワーク「トゥルコツ(野花)」の作家で、労働漫画展にも定期的に参加しているし、弁護士会の定期刊行物『民主社会のための弁論』にイラストを描いている。



천 리 길을 텅 없이 흘러온 홀리홀리강에는 수많은 물고기들이 살고 있습니다.  
 금모래 마을 사람들은 그런 강을 일터로 살아갑니다.  
 마을 사람들이 고기를 잡으러 나가는 날이면 이김없이  
 황금빛 물고기도 따라 나서는지요.



홀리홀리강의 물속을 훤히 알고 있는 황금빛 물고기는  
 자신의 먹이가 되는 작은 물고기들을 이리저리 몰아  
 이부의 그물 속으로 잘도 넣어 줍니다.  
 그 옛날 커다란 몸을 가진 황금빛 물고기를 처음 본 마을 사람들은  
 무척 놀라고 무서웠을 겁니다.  
 하지만 차츰 황금빛 물고기의 순수함과 개구쟁이 같은 모습에  
 마음을 열고 친구가 되었습니다.



가끔은 아이들과 마을 골목에서  
 숨바꼭질도 합니다.  
 꼭꼭 숨어다 버티기와 보일라,  
 꼭꼭 숨어다 버티기와 보일라.

# 魔女バラクーダの庭

CHILD

마녀 바라쿠다의 정원

趙亨淑 이석용



児童

979-11-6861-004-0

224 Pages

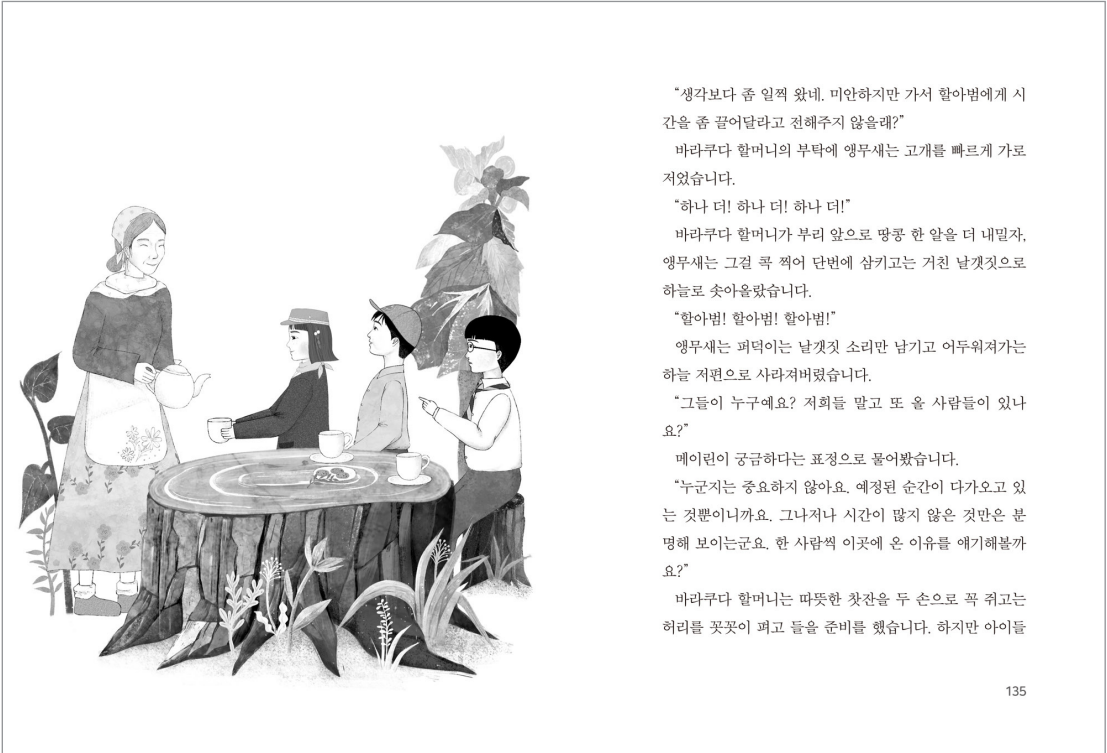
148\*220

2020

\*「韓国アンデルセン賞」大賞受賞

『魔女バラクーダの庭』は、差別と自然保護の問題を扱うファンタジー創作童話で、ちび魔法使い「メイリン」が伝説の魔女「バラクーダ」の庭を探しに飛び出してから経験する冒険を描いている。「椿」家の魔女で好奇心旺盛な「メイリン」、「鳳」家の子孫で観察力に優れた「ボンス」、「竹」家の子孫で繊細な「ドウ」、優しい性格だが、ある事件により自分を庭に封印した「魔女バラクーダおばあちゃん」、これ以上魔女が世の中に出ないことを願う校長先生「ベェク」と「ゲシュタポ」、子供たちを助ける「耕耘機おじいちゃん」、「黒熊」、「オウム」など個性のあるキャラクターがたくさん登場し、子供たちの冒険記を生き生きと伝える。

『魔女バラクーダの庭』は、魔法使いに対して漠然とした恐怖を抱いていた村の人たちが、やがて彼女たちを受け入れる姿を見せることで、偏見をなくせば誰もが幸せにもっと近づけることができるというメッセージを伝える。また、大人の欲望が招いた無分別な自然開発で荒廃していく村を守ろうとするメイリン、ボンス、ドウの努力を応援し、かけ替えのない自然の大切さを強調する。この本を読んで、「私たち」の大切さに気づき、それを守るためには何をするべきかを知る。自分の宝物であるほうきを壊してまで、より大きな価値に追ったメイリンのように。



“생각보다 좀 일찍 왔네. 미안하지만 가서 할아범에게 시간을 좀 끌어달라고 전해주지 않을까?”

바라쿠다 할머니의 부탁에 앵무새는 고개를 빠르게 가로 저었습니다.

“하나 더! 하나 더! 하나 더!”

바라쿠다 할머니가 부리 앞으로 땅콩 한 알을 더 내밀자, 앵무새는 그걸 꼭 짙어 단번에 삼키고는 거친 날갯짓으로 하늘로 솟아올랐습니다.

“할아범! 할아범! 할아범!”

앵무새는 퍼덕이는 날갯짓 소리만 남기고 어두워져가는 하늘 저편으로 사라져버렸습니다.

“그들이 누구예요? 저희들 말고 또 올 사람들이 있나요?”

메이린이 궁금하다는 표정으로 물어봤습니다.

“누군지는 중요하지 않아요. 예정된 순간이 다가오고 있는 것뿐이니까요. 그나저나 시간이 많지 않은 것만은 분명해 보이는군요. 한 사람씩 이곳에 온 이유를 얘기해볼까요?”

바라쿠다 할머니는 따뜻한 찻잔을 두 손으로 꼭 쥐고는 허리를 꼴깍이 펴고 들을 준비를 했습니다. 하지만 아이들

### 趙亨淑

1970년 서울生まれ。建築専攻。様々な大学で建築の講義をしており、教科書研究委員や多数の博物館・美術館の研究委員としても活躍した。2011年、初の長編小説『パラッチ』が第1回黄金ペン映像文学賞で金賞を受賞し、作家としてデビューした。『魔女バラクーダの庭』は2015年度韓国アンデルセン賞大賞を受賞した。

# スイカがコロコロ夏がドン!

CHILD

수박이 데굴데굴 여름이 쿵!

宋邦順 송방순



児童

979-11-6861-142-9

88 Pages

173\*230

2023

森に転がってきたスイカの正体を動物たちが探っていく物語を通して、動物の習性や自然の重要性、友情の美しさを伝える童話。

## 真夏の暑さが訪れた深い森の中、動物たちのところに転がってきた一つのスイカ

森の奥にも夏がやってきた。リスのダムは山のふもとから何か転がってくる音を聞いた。その正体はスイカ。ダムは家の前をふさぐスイカをポンと蹴とばした。スイカは小川に水を飲みに来た鹿のルルのところに。森の仲間たちは初めて見たスイカの正体が知りたくてたまらない。コロコロ転がってきたスイカの正体を突き止めようと推理を始める。果たして動物たちは猛暑を吹き飛ばしてくれる冷たくて甘いスイカが食べられるのか? かわいいキャラクターの豊かな表情や温かみのある色合いで描かれた森の風景は、動物たちの冒険と友情をより愛おしく感じさせる。

## 物語を通して学ぶ動物の習性

動物たちのおしゃべりを通して動物の生態や習性が学べる。夜になると食べ物や穴倉へため込む狸のグリに、表面と中身が違うスイカみたいだと言うリスのダム。何気ないひと言に昼と夜とで違う狸の生活が垣間見える。冬が来て、長い冬眠に入るダムとグリは、仲間としばらく遊べなくなるのを惜しんでみんなと挨拶を交わす。その反面、冬眠をしない鹿のルルと猪のクンは、冬のあいだ食べ物を求めて森の中を歩き回りな

から仲間をなつかしむ。こうして冬眠する動物としない動物の違いがわかる。

### 動物たちを通して見つめ直す人間の姿

猪のクンは時々人間の暮らす村に下りていって食べ物を漁る。危険すぎるという仲間たちに、ダムは「人間だって私たちが食べる栗やドングリを全部とっていちゃうんだから構わないじゃん」と言う。人間は自然の物を自分たちが欲しいだけ取っていくが、それが動物の餌だとは考えもしない。動物たちは「人間はぼくらのせいで悪いウイルスが広まるって言うけど」と言ったりする。コロナを思い起こさせる話だ。でも本当に動物のせいで人間を病気にするウイルスが広まるのだろうか。人間の過ちはないのだろうか。動物たちの言動は、自然を破壊し病を広めることに人間の責任はないのかと問いかける。



#### 宋邦順

大学で文芸創作を専攻し、童話作家、小説家として活動中。幼い頃から想像したり自然を観察するのが好きで作家を夢見ていた。子どもの気持ちを理解し、子どもたちが自由に想像の翼を広げられるような物語を書きたいと願っている(童話を書く作家)。

著書に童話(：)『わたしの心の配達完了』『脇がくすぐったい』『コンビニお化けチャチャ』『こねこね工作所作戦開始!』、青春小説『フリーズした(※直訳は「ラグが起きる」)ようですが知名度が低く、フリーズのほうがピンとくるのでこちらでいいかと思いました)思春期』『バッファリングーぼくを困らせるものたち』、小説(：)『さそり座』などがある。

「月刊文学」新人賞、チョンガン文学賞、東西文学賞、東亜クムナム児童文学賞(※この賞が全然ヒットしませんでした。原音そのままを翻訳しておくのが無難かと思い「クムナム」も入れました)を受賞。

# ペット人間

반려 인간

辛進 신진

CHILD



児童

978-89-6545-672-8

192 Pages

152\*210

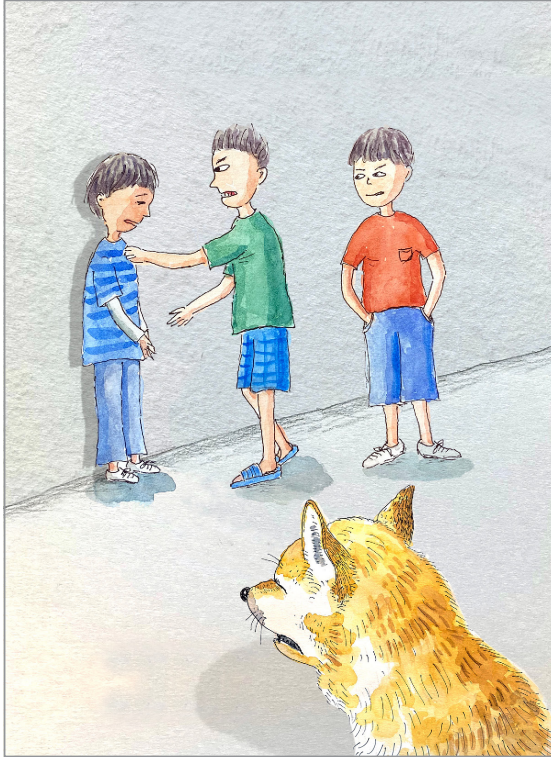
2020

著者が「家族童話集」と名付けた作品のテーマはいつも自然と人間の「生態回復」である。著者が言う「生態主義」とは、自然生態の物理的な復元、社会システムの浄化、個人と共同体の回復を含む。自己中心的な理性の野蛮、物質万能と人間疎外が溢れる現代社会において、生態主義の実践は至難なことである。しかし、著者は生態回復への願いをあきらめられず、10編の作品に込めた。

『ペット人間』は地球の主人になった犬と、そのペットになってしまった人間を描いている。環境汚染で犬に生きる場所を奪われた人間なんて童話にしか出なさそうな設定だが、人間の無節制がもたらした新型コロナウイルスの拡散を経験した今、この話を簡単に見過ごすことはできない。「星になった唐辛子の花」などの作品では、私たちが守るべき大切な自然を描いている。自然は人間の征服の対象ではなく、尊重・連帯して共同体を築いていく仲間であることを伝える。「宝物船」などでは、身体の違いや貧富の差など現実的な制約を超え、他者への尊重と愛情を忘れてはいけないというメッセージを伝えている。

## 辛進

1981年から2015年までドンア大学で文学を教えた。詩人、文学評論家、童話作家などとして活動する一方、家族と一緒に川や山で野菜を作って家畜の世話をしながら暮らす。長編創作童話『ラクダ草の脱出』のほか、多数の詩集や研究書、エッセイ集を著した。



“인마, 너 오늘 돈 땃잖아? 우리가 나중에 갚는다잖아. 빌려 주고 가.”

“돈 없어요, 지난번에 잃은 돈, 절반도 못 건졌어요.”

“너 그러면 다시는 PC방 못 와. 우리가 말로 할 때 듣는 게 좋아.”

“그렇잖아도 이제 PC방 안 갈 거예요. 나요, 나 집에 갈래요.”

“이 새끼가?”

하나가 승환이의 어깨를 툭 치자 다른 하나가 승환이의 멱살을 잡아 담벼락에 밀어붙입니다. 아, 하는 승환이의 짧은 비명과 굉음거리는 소리. 위협에 빠진 게 분명했어요. 어느새 나는 담장을 훌쩍 뛰어넘고 있었어요. 소년이한테 허락을 받을 거를도 없이 말이에요.

단숨에 원장에 도착해서 이빨을 길게 뽑아 겁을 주었어요.

“으르르르르.”

PC방 형 둘은 놀라고 무서워서 눈치 보기 바쁘고, 승환이는 나를 친구인 양 다정하게 맞았어요.

나는 승환이의 곁에 바짝 붙어 서면서 두 PC방 형들을

노란 조끼를 입은 공원 경비 개들이 전서 유지를 위해 손짓 발짓을 하며 호루라기를 불기도 한다. 공중에서는 크고 작은 드론들이 날아다니고 있다.

“완전 인간판이아, 인간판!”

해피 색가 농담 반 진담 반 무늬를 했다. ‘인간판’이란 개들이 나쁜 짓을 할 때에 인간에 빗대 표현하는 개 나라의 속어이다.

공원에는 군데군데 크고 높다란 담들이 서 있었다. 오래 전 옛날 인간들이 세상을 지배할 때 남겼다는 쇠붙이 무덤들, 대개 피라미드형이다. 금속, 비금속 광물들이 오랜 세월 썩어 없어져서 쌓여 층층이 이룬 것이다. 작은 것은 3층 건물 크기 정도지만 큰 것은 수십 층의 아파트 크기와 높이에 이른다. 이곳 쇠붙이 무덤 공원에만 해도 시큰어릿 개가 있는데, 때문에 일대가 유물 보존 구역으로 지정되어 관리되고 있다.

일행은 쇠붙이 무덤 사잇길 한쪽 ‘인간 쇠붙이 무덤 전시관’이란 유리 건물로 들어갔다. 유리도 된 자동 출입문으로 들어가면 투명 유리 널 위에 서게 되고, 발밑 지하 2층쯤 아래에서부터 머리 위 2층쯤 높이의 천장에 이르기까지 실

